

## 書評 201805



### プロパガンダ

北井 一夫 著

ワイズ出版

神戸港・沖仲仕、川口・鋳物職人、深川木場・川並…。1965年?1974年の職人たちと風景の写真を、未発表作品を主にまとめた北井一夫の自選写真集。インタビューも収録する。

2018:1./ 143p

978-4-89830-312-2

本体 ¥2,500+税



産経新聞 2018/05/05



### あやし草紙～三島屋変調百物語伍之続～(三島屋変調百物語| 5)

宮部 みゆき 著

KADOKAWA

塩断ちが元凶で“行き逢い神”を呼び込み、身も凍る不幸を招いた「開けずの間」など、全5話を収録した江戸怪談集。『北海道新聞』ほか連載作品に、『小説野性時代』掲載の「金目の猫」を加えて単行本化。

2018:4./ 565p

978-4-04-106792-5

本体 ¥1,800+税



産経新聞 2018/05/06



### 死の島

小池 真理子 著

文藝春秋

定年後、小説講座で教えながら独り暮らす、澤登志夫。プライド高く生きてきた男が不治の病に侵され、余命を知った時、死をどう迎えるか。現代をゆさぶる傑作長編。『オール讀物』掲載を単行本化。

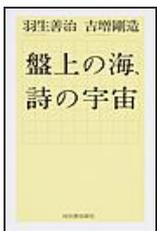
2018:3./ 409p

978-4-16-390805-2

本体 ¥1,700+税



産経新聞 2018/05/06



### 盤上の海、詩の宇宙

羽生 善治、吉増 剛造 著

河出書房新社

天才棋士・羽生善治と、現代詩壇を代表する詩人・吉増剛造。透徹した二人の感性が出会い、実現した驚異の<対局>。盤上の譜面が表現する宇宙が、詩の世界と通じ合う瞬間を捉えた対談を収録。

2018:3./ 193p

978-4-309-27926-8

本体 ¥840+税



産経新聞 2018/05/06



### 英米哲学入門～「である」と「べき」の交差する世界～(ちくま新書 1322)

一ノ瀬 正樹 著

筑摩書房

「経験」や「言語」を足場に考え抜いた哲学者たちの議論を糸口に、素朴にして深遠な哲学の根本問題へといざなう。事実「である」と規範「べき」が織りなす世界の謎を思考する、英米哲学を素材とした哲学入門書。

2018:4./ 362p

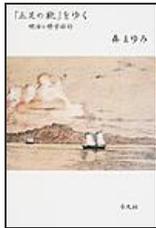
978-4-480-07132-3

本体 ¥980+税



産経新聞 2018/05/06

- ご注文の際には、タイトル・出版社名・価格のほか、ISBNも併せてお知らせください。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ご注文、ご照会には弊社本・支店・営業部(課)までお申し付けください。
- 表示価格は2018年2月時点での税抜価格です。



### 「五足の靴」をゆく～明治の修学旅行～

森 まゆみ 著  
平凡社

明治 40 年夏、与謝野寛(鉄幹)、北原白秋、吉井勇、平野萬里、太田正雄(木下  
杢太郎)が、南蛮文化への興味を胸に九州にひと月の旅をした。多彩な文学とし  
て花開いた彼らの旅の足跡を辿る。

産経新聞 2018/05/06

2018:3./ 253p  
978-4-582-83774-2  
本体 ¥1,600+税



### デカルトの憂鬱～マイナスの感情を確実に乗り越える方法～

津崎 良典 著  
扶桑社

「デカルトはいつも「方法に従う」「デカルトはときどき「誤る」」...。私たちに降りか  
かる様々なマイナスの状況といかに対峙すべきか、「デカルトは〇〇する」という身  
近な切り口から解き明かした、新しいデカルトの入門書。

産経新聞 2018/05/06

2018:1./ 373p,4p  
978-4-594-07894-2  
本体 ¥1,600+税



### 文豪の凄い語彙力

山口 諤司 著  
さくら舎

言葉を探し、言葉を選び、言葉を創りだして文章を紡ぎ出した文豪たち。幸田文  
「糖衣を脱いだ地声」、山田風太郎「哀怨な瞳」など、古くて新しい、そして深い文  
豪たちの言葉を紹介する。

産経新聞 2018/05/06

2018:4./ 251p  
978-4-86581-143-8  
本体 ¥1,500+税



### ツリーハウスがほしいなら

カーター・ヒギンズ、エミリー・ヒューズ、千葉 茂樹 著  
ブロンズ新社

ツリーハウスがほしいなら、想像してごらん。背が高い木がいいかな? すきなもの  
でいっぱい、きみだけのツリーハウスをつくらう。子どもたちへ贈る、想像力の  
絵本。

産経新聞 2018/05/06

2018:4./ 1冊(ページ付  
なし)  
978-4-89309-644-9  
本体 ¥1,400+税



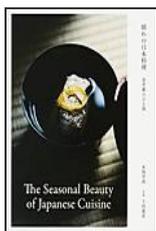
### 山熊田

亀山 亮 著  
夕書房

新潟県村上市山熊田。新潟と山形の県境に位置するこの小さな集落にあるのは、  
山と熊と田んぼだけ。山焼き、熊狩り、シナ織...。山とともに生きる人々の暮らしを  
写し撮ったモノクロ写真集。

産経新聞 2018/05/06

2018:2./ 128p  
978-4-909179-01-2  
本体 ¥2,800+税



### 晴れの日本料理～青草【カ】のひと刻～

永坂 早苗、上田 義彦 著  
求龍堂

「四季折々の美しい日本料理」を、美しい陶器や漆器、木器に盛り付けて詩歌と  
散文を添えた写真集。食材の説明には英文も併載。引用文学作品解説も収録。  
『和楽』連載をもとに書籍化。

産経新聞 2018/05/12

2018:3./ 262p  
978-4-7630-1709-3  
本体 ¥3,300+税





**廃園日和**

行成 薫 著  
講談社

閉園が決まった遊園地「星が丘ハイランドパーク」の最後の日。中学生の団体、年の離れたカップル、親子連れや老人夫婦らが、さまざまな思いを胸にハイランドを訪れる…。22人の喜怒哀楽を描く。

産経新聞 2018/05/13

2018:4./ 317p  
978-4-06-220754-6  
本体 ¥1,600+税



**宿命〜警察庁長官狙撃事件捜査第一課元刑事の23年〜**

原 雄一 著  
講談社

警察庁長官狙撃事件の容疑者・中村泰の捜査はなぜ封印されたのか？ 警視庁幹部、警察組織、現場捜査員、社会情勢などの「宿命」が絡み合い、葬り去られた事件の真相に迫る。緻密な捜査ノートをもとに綴ったノンフィクション。

産経新聞 2018/05/13

2018:3./ 303p  
978-4-06-221024-9  
本体 ¥1,600+税



**問題児〜三木谷浩史の育ち方〜**

山川 健一 著  
幻冬舎

愛情溢れた父親と母親に導かれた問題児は、どのように育ち、どのような教育を受け、今後どこへ向かおうとしているのか。日本を代表する実業家・三木谷浩史の実像を、本人、両親、関係者の取材から綴る。

産経新聞 2018/05/13

2018:2./ 276p  
978-4-344-03251-4  
本体 ¥1,500+税



**国宝の解剖図鑑〜国宝を知れば日本の美術と歴史がわかる〜**

佐藤 晃子 著  
エクスナレッジ

国宝をタテ・ヨコ・斜めから大解剖！ 絵画や彫刻、建造物など、様々なジャンルの国宝を取り上げ、どこがすごいのか、見所は何かを、図を用いて簡潔に解説。国宝に関する初歩的な疑問についてもまとめる。

産経新聞 2018/05/13

2018:4./ 156p  
978-4-7678-2455-0  
本体 ¥1,600+税



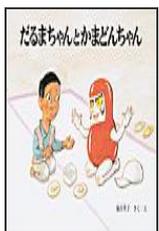
**呪いの解き方〜WORK,PRIVATE,WORSHIP,LOVE&ITEM〜**

川井 春水 著  
アスコム

お清め・神社・龍神のすべてを知り尽くした魂伝師が、850年の歴史ある荘厳契密法を現代版にアレンジ。不運を遠ざけ、幸運を引き寄せるための方法をわかりやすく紹介する。動画解説 QR コード、切り取り式開運お守り付き。

産経新聞 2018/05/13

2018:4./ 112p  
978-4-7762-0988-1  
本体 ¥1,300+税



**だるまちゃんとかまどんちゃん(だるまちゃんの絵本)**

加古 里子 著  
福音館書店

かまどんちゃんは、おいしいままごと料理を作ってくれる、静かな女の子。ある日、だるまちゃんが女の子たちとままごと遊びをしていると、どこからかこげたにおいがしてきた。見ると、近くの家からけむりが出ていて…。

産経新聞 2018/05/13

2018:1./ 31p  
978-4-8340-8373-6  
本体 ¥900+税





**ある金融マンの回顧～拓銀破綻と営業譲渡～**

高向 巖 著

北海道新聞社

北海道拓殖銀行の破綻から 20 年。前例なき「小が大をのむ」拓銀の営業譲渡。引き継ぎ交渉で奮闘した実働部隊リーダー(当時の北洋銀行副頭取)だった著者が、拓銀譲り受けの舞台裏を語る。

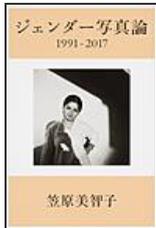
2017:12./ 170p

978-4-89453-889-4

本体 ¥1,300+税



産経新聞 2018/05/13



**ジェンダー写真論～1991-2017～**

笠原 美智子 著

里山社

女性や LGBT の写真家、現代アート作家は、いかに社会と対し、表現してきたかを探るテキスト・決定版。「病と老いを克服する写真」「やなぎみわ作品に見る現代日本女性の意識」などを収録。ヌード写真あり。

2018:2./ 413p 図版 16p

978-4-907497-07-1

本体 ¥2,700+税



産経新聞 2018/05/13



**オリジン<上>**

ダン・ブラウン、越前 敏弥 著

KADOKAWA

スペインのグッゲンハイム美術館を訪れていた宗教象徴学者ラングドン。人類最大の謎を解き明かす映像を発表するという元教え子のカーシュは、発表の直前、額を撃ち抜かれて絶命する。一体誰が? ラングドンが謎に迫る!

2018:6./ 338p

978-4-04-105577-9

本体 ¥1,800+税



産経新聞 2018/05/13、日本経済新聞 2018/05/19



**オリジン<下>**

ダン・ブラウン、越前 敏弥 著

KADOKAWA

「我々はどこから来たのか、どこへ行くのか」という人類最大の謎。それを解き明かしたカーシュが遺した映像を見るには、47 文字のパスワードが必要だった。誰が誰を欺いているのか。ラングドンの前に最強の敵が立ち上がる!

2018:6./ 326p

978-4-04-105597-7

本体 ¥1,800+税



産経新聞 2018/05/13、日本経済新聞 2018/05/19



**高田明と読む世阿弥～昨日の自分を超えていく～**

高田 明、増田 正造 著

日経BP社

ジャパネットたかた創業者が大事にしてきたものとは、「他人と比べず、「自分史上最高」を全力で追う」ことだった! 著者が師と仰ぐ世阿弥の言葉を、高田流に超訳し紹介する。『日経トップリーダー』連載に大幅加筆し書籍化。

2018:3./ 183p

978-4-8222-5897-9

本体 ¥1,400+税



産経新聞 2018/05/19



**運命の歌のジグソーパズル～TOKIKO'S HISTORY SINCE 1943～**

加藤 登紀子 著

朝日新聞出版

「遠い祖国」「愛の讃歌」「百万本のバラ」... 加藤登紀子の代表的な歌は、どう生まれ、どうやって「加藤登紀子の歌」になっていったのか。ヒット曲が生まれた背景と自身の波瀾万丈な人生を重ねた自伝。

2018:4./ 276p

978-4-02-331705-5

本体 ¥1,500+税



産経新聞 2018/05/20



**英国スパイ物語(中公選書 031)**

川成 洋 著

中央公論新社

英国情報組織の生成発展のドラマを描きながら、英国のスパイ、二重スパイたちの活動を、2 度の世界大戦とロシア革命期を中心に活写。相手国のスパイや治安組織との暗闘、暗号解読のスリリングな事情なども綴る。

2018:2./ 332p

978-4-12-110031-3

本体 ¥2,400+税



産経新聞 2018/05/20



**須賀敦子の旅路~ミラノ・ヴェネツィア・ローマ、そして東京~(文春文庫 お 74-1)**

大竹 昭子 著

文藝春秋

須賀敦子没後 20 年。親交の深かった著者が、ミラノ、ヴェネツィア、ローマと須賀の足跡をたどり、その起伏ある人生と作品の背景を探る。東京における「空白の 20 年」も綴った、清新な須賀敦子論。

2018:3./ 487p

978-4-16-791041-9

本体 ¥1,100+税



産経新聞 2018/05/20



**コグニサイズ・コグニライフで認知症は自力で防げる!~1日5分から始める!~**

島田 裕之 著

すばる舎

国立の研究機関が考案した認知症予防! 頭と身体を同時に使う運動「コグニサイズ」と生活習慣「コグニライフ」を紹介。コグニサイズの動きを確認できる動画を収録した DVD、その動画をスマホなどで見られる QR コード付き。

2018:4./ 95p

978-4-7991-0652-5

本体 ¥1,600+税



産経新聞 2018/05/20



**文豪ナンバーワン決定戦**

福田 和也 著

宝島社

教科書に載る正統派から、危険視された異端まで、現在でも読み継がれている文豪 50 人を、「面白さ」「美文」「思想性」などの 5 項目に添って採点し、ランキング形式で紹介。現代世界の文豪 10 人なども掲載する。

2018:3./ 158p

978-4-8002-8130-2

本体 ¥1,200+税



産経新聞 2018/05/20



**色の辞典**

新井 美樹 著

雷鳥社

日常的な色名や慣用的な色名、日本や欧米諸国の伝統的な色名など 367 色を取り上げ、由来や歴史などを解説する。CMYK 数値も掲載する。固有名詞を冠した色の名前などのコラムも収録。

2018:3./ 251p

978-4-8441-3736-8

本体 ¥1,500+税



産経新聞 2018/05/20



**漱石の家計簿~お金で読み解く生活と作品~**

山本 芳明 著

教育評論社

ベストセラー作家、夏目漱石は一体いくら稼いだのか? 漱石の文学活動を、これまで軽視されがちだった経済的な視点から捉え直すとともに、死後に生じた経済効果、文化資産としての動向を明らかにする。

2018:4./ 335p

978-4-86624-013-8

本体 ¥2,400+税



産経新聞 2018/05/20



### みんな、ワンダー

R.J.パラシオ、中井 はるの 著  
アルファポリス

生まれつき顔に障害があるオギー。ほかの子たちは、彼の顔をじろじろ見たり、笑ったり、平気で悪口を言っている。そういう時、オギーはヘルメットをかぶり…。小説「ワンダー」の主人公とともに繰り広げられる絵本。

産経新聞 2018/05/26

2018:4./ 1冊(ページ付なし)

978-4-434-24534-3

本体 ¥1,200+税



\* 9 7 8 4 4 3 4 2 4 5 3 4 3 \*



### 「もう一つの日本」を求めて～三島由紀夫『豊饒の海』を読み直す～(いま読む!名著)

井上 隆史 著  
現代書館

1970年の自決とともに世に生み出された三島由紀夫の遺作「豊饒の海」。恐るべき洞察力で進歩主義の終着点「虚無の極北」を描いたその書を、21世紀を生きてゆくための新たなヴィジョンを求めて読み直す。

産経新聞 2018/05/26

2018:2./ 237p

978-4-7684-1012-7

本体 ¥2,200+税



\* 9 7 8 4 7 6 8 4 1 0 1 2 7 \*



### コンタミ～科学汚染～

伊与原 新 著  
講談社

大学院生の圭は、ニセ科学批判の急先鋒である蓮見教授のもとで、美貌の女性研究者・美冬に関する信じ難い事実を告げられる。彼女はニセ科学商品の開発に手を貸し、行方をくらませたのだ。圭は美冬のことを追うが…。

産経新聞 2018/05/27

2018:3./ 301p

978-4-06-220964-9

本体 ¥1,550+税



\* 9 7 8 4 0 6 2 2 0 9 6 4 9 \*



### 名門水野家の復活～御曹司と婿養子が紡いだ100年～(新潮新書 758)

福留 真紀 著  
新潮社

名門水野家は、当主の乱心によって譜代大名から旗本へと転落する。一心に勤め上げ大名復帰を果たした御曹司忠友と、老中として権勢を誇るまでに家格を上げた忠成。二代にわたる水野家復活の道程を、史料を基に活写する。

産経新聞 2018/05/27

2018:3./ 207p

978-4-10-610758-0

本体 ¥740+税



\* 9 7 8 4 1 0 6 1 0 7 5 8 0 \*



### 日本刀大全 決定版

原田 道寛 著  
河出書房新社

斯界の第一人者が愛と執念で綴った、日本刀鑑定の世界。造刀術の発達、新古の比較、吉光の偽物、村正の伝説、目利き心得など、日本刀に関する重要な事柄と、著者ならではの貴重なエピソードを収録する。

産経新聞 2018/05/27

2018:3./ 345p

978-4-309-22729-0

本体 ¥2,800+税



\* 9 7 8 4 3 0 9 2 2 7 2 9 0 \*



### 無限の本棚～手放す時代の蒐集論～ 増殖版(ちくま文庫 と27-1)

とみさわ 昭仁 著  
筑摩書房

漫画、中古レコード、ジッポーライター、野球カード…。ガタガタ言っていると集めるぞコノヤロウ! 蒐集にとりつかれた奇人の圧倒的コレクション論。伊集院光との対談も収録。

産経新聞 2018/05/27

2018:3./ 339p

978-4-480-43505-7

本体 ¥860+税



\* 9 7 8 4 4 8 0 4 3 5 0 5 7 \*



**「投壘通信」の詩人たち～<詩の危機>からホロコーストへ～**

細見 和之 著  
岩波書店

西洋の没落が叫ばれ、反ユダヤ主義が渦巻くさなか、いかに現実と対峙し、詩作をなしたのか。ポーからツェランまで、「投壘通信」をモチーフとしたヨーロッパの詩人たちの作品をたどり、「現実」との関わりを考察する。

2018:3./ 11p,310p  
978-4-00-061255-5  
本体 ¥3,100+税



朝日新聞 2018/05/05



**国際政治～権力と平和～<上>(岩波文庫 34-028-1)**

モーゲンソー、原 彬久 著  
岩波書店

人間性についての伶俐な仮説に基づくモーゲンソーの現実主義(リアリズム)とは何か。国家の外交に「力」と「国益」という概念を導入してこそ平和が得られると主張した国際政治学の古典的名著。

2013:8./ 408p  
978-4-00-340281-8  
本体 ¥1,070+税



朝日新聞 2018/05/05



**国際政治～権力と平和～<中>(岩波文庫 34-028-2)**

モーゲンソー、原 彬久 著  
岩波書店

国家間権力闘争の冷厳な事実を直視しつつ、その抑制要因としてバランス・オブ・パワーや、国際道義・国際世論・国際法等がどれほど有効なのかを解明する。現代世界の本質を喝破する、国際政治学の古典的名著。

2013:10./ 494p  
978-4-00-340282-5  
本体 ¥1,260+税



朝日新聞 2018/05/05



**国際政治～権力と平和～<下>(岩波文庫 34-028-3)**

モーゲンソー 著  
岩波書店

恒久平和のための国際共同体樹立に向けて、外交は何をなすべきか。絶対的勝利と絶対的敗北をともに避けつつ、説得・妥協・圧力によって国益を調整し平和を勝ち取る、外交の真骨頂に迫る国際政治学の古典的名著。

2013:12./ 413p,11p  
978-4-00-340283-2  
本体 ¥1,070+税



朝日新聞 2018/05/05



**工芸の道(講談社学術文庫)**

柳 宗悦 著  
講談社

朝日新聞 2018/05/05

2005:9./ 365p  
978-4-06-159724-2  
本体 ¥1,200+税



**中国古代史研究の最前線(星海社新書 123)**

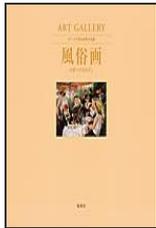
佐藤 信弥 著  
星海社

出土文献と最新研究で、中国古代史はもっと面白くなる! 「封神演義」から「キングダム」まで、気鋭の研究者が 2000 年前の歴史の実像を明らかにする。

2018:3./ 286p  
978-4-06-511438-4  
本体 ¥1,000+税



朝日新聞 2018/05/05



**ART GALLERY~テーマで見る世界の名画~<7> 風俗画 日常へのまなざし**  
 集英社  
 世界の名画をテーマ別に編集した、まったく新しい美術全集。7は、「風俗画」というテーマに沿って選定した全67点について解説する。また、そのテーマがどのように描かれてきたのかを美術史的視点から考察する。

2018:3./ 99p  
 978-4-08-157077-5  
 本体 ¥5,000+税



朝日新聞 2018/05/05



**身体巡礼<ドイツ・オーストリア・チェコ編>(新潮文庫 よ-24-12)**  
 養老 孟司 著  
 新潮社  
 身体を通して人間を観察し続けてきた解剖学者が、ドイツ・オーストリア・チェコを歩き、ヨーロッパ独特の身体性と死生観を明らかにする。デスマスク、骸骨等のカラー写真も掲載。

2016:12./ 213p 図版  
 16p  
 978-4-10-130842-5  
 本体 ¥590+税



朝日新聞 2018/05/05



**盲目的な恋と友情(新潮文庫 つ-29-5)**  
 辻村 深月 著  
 新潮社  
 自身の美貌に無自覚で恋も知らない蘭花の人生を、茂実が一変させた。彼との恋愛に溺れる蘭花だが、やがて裏切りを知る。蘭花の友人・留利絵がその歳月を見つめた時、また別の真実が…。男女、そして女友達の妄執を描いた長編。

2017:2./ 302p  
 978-4-10-138882-3  
 本体 ¥550+税



朝日新聞 2018/05/05



**骸骨考~イタリア・ポルトガル・フランスを歩く~(The European Burial Ritual)**  
 養老 孟司 著  
 新潮社  
 人は必ず骨になる。例外は、ない。イタリア、ポルトガル、フランスへの墓地めぐりの旅をし、「骸骨」との格闘を重ねた、養老流身体哲学の到達点。カラー写真も多数掲載。季刊誌『考える人』連載をもとに単行本化。

2016:12./ 158p 図版  
 24枚  
 978-4-10-416008-2  
 本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2018/05/05



**人体 600万年史~科学が明かす進化・健康・疾病~<上>(ハヤカワ文庫 NF 511)**  
 ダニエル・E.リーバーマン、塩原 通緒 著  
 早川書房  
 人類が類人猿と分岐し、直立二足歩行を始めたときから、人類の身体には独特の新しい適応構造がいろいろとあらわれた…。長い進化の過程から、人間の身体と病とを考察する。

2017:11./ 374p  
 978-4-15-050511-0  
 本体 ¥920+税



朝日新聞 2018/05/05



**人体 600万年史~科学が明かす進化・健康・疾病~<下>(ハヤカワ文庫 NF 512)**  
 ダニエル・E.リーバーマン、塩原 通緒 著  
 早川書房  
 労働事情や食生活などの環境変化に身体の適応が追いつかず、人間はさまざまな健康問題に悩まされ、病は是正されることなく次世代に伝わって行く。進化の旅を踏まえ、この悪循環を食い止めるにはどうすればいいかを考察する。

2017:11./ 398p  
 978-4-15-050512-7  
 本体 ¥920+税



朝日新聞 2018/05/05



**愛を返品した男～物語とその他の物語～**

B.J.ノヴァク、山崎 まどか 著

早川書房

史上初めて人を愛することができた人工知能の恋の行方とは…。自由奔放な発想、ひねりを極めた笑い、胸を打つ切なさど愛おしさにあふれる全 63 篇+α。俳優、脚本家としても活躍する異才が著した初短篇集。

2015:8./ 364p

978-4-15-209557-2

本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2018/05/05



**えがないえほん**

B.J.ノヴァク、おおとも たけし 著

早川書房

「ぼふっ」「ぶりぶりぶ?!」シンプルな仕掛けで、子どもが大喜びし、本好きになって、表現力も豊かになる! 「ねこのピート」シリーズの大友剛が翻訳した、米国で人気の“絵がない”読み聞かせ本。

2017:11./ 1 冊(ページ付なし)

978-4-15-209724-8

本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2018/05/05



**ラオスにいったい何があるというんですか?～紀行文集～(文春文庫 む 5-15)**

村上 春樹 著

文藝春秋

アメリカ各地、かつて住んだギリシャ、長編小説の舞台フィンランド、ラオス、そしてなぜか熊本…。村上春樹が訪れた世界のいろいろな場所について綴った紀行文集。「熊本再訪のご報告」も収録。

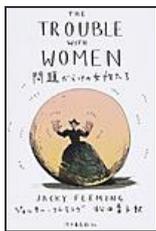
2018:4./ 274p

978-4-16-791056-3

本体 ¥870+税



朝日新聞 2018/05/05



**問題だらけの女性たち**

ジャッキー・フレミング、松田 青子 著

河出書房新社

19 世紀ヴィクトリア朝の女性たちが、いかにバカバカしい迷信と固定観念に苦しんだか。何をしても「問題」があると決めつけられ、歴史のゴミ箱に捨てられた女性たちを、イラストとともに、ユーモアと皮肉ですくい上げる。

2018:3./ 1 冊(ページ付なし)

978-4-309-20739-1

本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2018/05/05



**世界文化遺産軍艦島(Japan Deathtopia Series Vol.7)**

小林 伸一郎 著

金の星社

2015 年に世界文化遺産となった、世界でも類を見ない廃墟の島「軍艦島」。狭小な地盤にすべてが凝縮された圧倒的異空間を撮影した、鬼才・小林伸一郎の写真集。

2018:4./ 191p

978-4-323-07415-3

本体 ¥4,600+税



朝日新聞 2018/05/05



**「太陽の塔」新発見!～岡本太郎は何を考えていたのか～(青春新書 INTELLIGENCE PI-536)**

平野 暁臣 著

青春出版社

50 年間の関連記事に目を通し、業務記録をひも解き、収蔵資料を探索。構想段階から現在の状況にいたるまで、さらには太郎の芸術思想から使用材料にいたるまで、太陽の塔をめぐる多彩なエピソードを収録する。

2018:3./ 249p

978-4-413-04536-0

本体 ¥1,000+税



朝日新聞 2018/05/05



### 「女子」という呪い

雨宮 処凛 著  
集英社クリエイティブ

「女のくせに」と罵られ、常に女子力を求められる。そんな<呪われた女性達>の不安や怒りを軽妙に語り、解決のヒントを探るエッセイ。情報・知識&オピニオン『イミダス』連載などに書き下ろしを加えて書籍化。

2018:4./ 223p  
978-4-420-31080-2  
本体 ¥1,100+税



朝日新聞 2018/05/05



### 絶滅危惧の地味な虫たち～失われる自然を求めて～(ちくま新書 1317)

小松 貴 著  
筑摩書房

アリの死骸をまとうカメムシの幼虫、ロボットから生まれる蚊、オケラに卵を産みつけるハチ、鍵つきの巣に住むクモ…。絶滅危惧の虫の中でも殊更に世間で話題にのぼらない種を取り上げ、彼らへの惜しみない「愛」を語る。

2018:3./ 318p  
978-4-480-07126-2  
本体 ¥950+税



朝日新聞 2018/05/05



### 朝ドラには働く女子の本音が詰まってる(ちくま新書 1323)

矢部 万紀子 著  
筑摩書房

連続テレビ小説、通称「朝ドラ」のテーマは女の一代記、女の生き方。ヒロインの人生の戦いはすべての働く女子の戦いに重ねられている-。徹底した視聴者目線で、朝ドラ人気の秘密を論じる。『WEBRONZA』連載を書籍化。

2018:4./ 237p  
978-4-480-07136-1  
本体 ¥800+税



朝日新聞 2018/05/05



### バベル!～自力でビルを建てる男～

岡 啓輔 著  
筑摩書房

心を開き、広がるイメージを見つめ、現れた「何か」を形に定着させる。それが連鎖し、徐々に全体の姿が現れてくる-。2005年、着工。現在も建設中。200年もつコンクリートで、自邸「蟻鱒鳶ル」をつくる男の意志と記録。

2018:4./ 284p  
978-4-480-87396-5  
本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2018/05/05



### 海辺の週刊大衆(双葉文庫 せ-11-01)

せきしろ 著  
双葉社

ここは無人島。海辺に取り残された男がひとり。傍らには、何故だか、そして、よりによって『週刊大衆』が一冊…。徹底的に何も起きないサバイバル小説。書き下ろし短編も掲載。2018年4月公開映画の原作。

2018:4./ 271p  
978-4-575-52106-1  
本体 ¥583+税



朝日新聞 2018/05/05



### トマト缶の黒い真実(ヒストリカル・スタディーズ 21)

ジャン=バティスト・マレ、田中 裕子 著  
太田出版

中国、アメリカ、ヨーロッパ、アフリカを舞台に、経営者から生産者、労働者までトマト加工産業に関わる人々に徹底取材。産地偽装、大量の添加物や劣化した原料を使用する生産現場、奴隷的な労働者など、さまざまな問題を暴く。

2018:3./ 347p  
978-4-7783-1616-7  
本体 ¥1,900+税



朝日新聞 2018/05/05



**<妊婦>アート論～孕む身体を奪取する～**

山崎 明子、藤木 直実、菅 実花 著  
青弓社

妊娠するラブドール、マタニティ・フォト、妊娠小説、妊娠するファッションドール、胎盤人形、日本美術や西洋美術で描かれた妊婦…。孕む身体と接続したアートを読解して、妊娠表象の歴史的・現代的意味を考察する。

2018:1./ 147p  
978-4-7872-7410-6  
本体 ¥2,400+税



朝日新聞 2018/05/05



**10年後の仕事図鑑～新たに始まる世界で、君はどう生きるか～**

堀江 貴文、落合 陽一 著  
SBクリエイティブ

AI(人工知能)が台頭する 21 世紀。「なくなる仕事」と「減る仕事」を経営者の視点、AI を作る側の視点から紹介し、働き方の変化に伴う経済、特にお金の変化などを解説。また、人生のグランドデザインを描く術も説明する。

2018:4./ 254p  
978-4-7973-9457-3  
本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2018/05/05



**英語のこころ(インターナショナル新書 024)**

マーク・ピーターセン 著  
集英社インターナショナル

なぜ漱石の「こころ」は heart と訳せないのか? 擬態語・擬音語は英語で表せる? 小説の一節、映画のセリフ、ニュース記事を題材に、英語表現に秘められた繊細さと美しさを読み解く。『kotoba』連載に加筆修正。

2018:4./ 173p  
978-4-7976-8024-9  
本体 ¥700+税



朝日新聞 2018/05/05



**まがいの器～古道具屋奇譚～(バンブーコミックス)**

水木 由真 著  
竹書房

朝日新聞 2018/05/05

2018:3.  
978-4-8019-6209-5  
本体 ¥700+税



**日本のポスター(京都工芸繊維大学美術工芸資料館デザインコレクション 3)**

並木 誠士、和田 積希、京都工芸繊維大学美術工芸資料館 著  
青幻舎

浮世絵の名残を感じさせる「美人画」的なポスターから、より多彩でモダンなポスターへ。明治時代末から大正・昭和初期という、日本のビジュアルデザインが花開いた時代の 229 点を、飲食品、観光などの分野別に紹介する。

2018:3./ 287p  
978-4-86152-656-5  
本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2018/05/05



**科学的人間と権力政治**

ハンス・J.モーゲンソー、星野 昭吉、高木 有 著  
作品社

国際政治学の泰斗モーゲンソーの出世作。世界政治の問題を理性で解決しようとするリベラル合理主義者に冷水を浴びせた、現実主義政治哲学の体系的解説書。

2018:3./ 270p  
978-4-86182-669-6  
本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2018/05/05



**柳宗悦・「無対辞」の思想**

松竹 洸哉 著  
弦書房

従来顧みられることのなかった<無対辞の一なる思想><存在するすべてを全肯定する思想>とは。陶工でもある著者が作陶の実感を踏まえながら、柳宗悦が観つづけた<一なる美>の本質を辿る。『道標』連載をもとに単行本化。

2018:4./ 304p  
978-4-86329-168-3  
本体 ¥2,400+税



朝日新聞 2018/05/05



**三人よれば楽しい読書**

井上 ひさし、松山 巖、井田 真木子 著  
西田書店

地下鉄サリン事件、阪神淡路大震災、野茂英雄の大リーグデビューがあったあの頃の本…。1995?1997 年に小説から詩集、科学書、歴史書まで取り上げて語った鼎談書評集。『本の話』掲載に当時の出来事を加えて単行本化。

2018:4./ 291p  
978-4-88866-626-8  
本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2018/05/05



**悪と全体主義〜ハンナ・アーレントから考える〜(NHK 出版新書 549)**

仲正 昌樹 著  
NHK出版

世界を席卷する排外主義的思潮や強権的政治手法といかに向き合うべきか。ハンナ・アーレントの「全体主義の起原」「エルサレムのアイヒマン」を読み、疑似宗教的世界観に呑み込まれない思考法を解き明かす。

2018:4./ 221p  
978-4-14-088549-9  
本体 ¥780+税



朝日新聞 2018/05/05、日本経済新聞 2018/05/05



**ちいさな桃源郷〜山の雑誌アルプ傑作選〜(中公文庫 い111-4)**

池内 紀 編  
中央公論新社

「ちいさな桃源郷」は、われわれの住む、ほんの少し先にある-。椋鳩十「赤石山麓の毛皮仲買人のことなど」、深田久弥「神流川を遡って」、串田孫一「四つの道」など、伝説の山の文芸誌『アルプ』より珠玉の33篇を収録。

2018:3./ 273p  
978-4-12-206501-7  
本体 ¥900+税



朝日新聞 2018/05/05、毎日新聞 2018/05/13



**世界を変えた50人の女性科学者たち**

レイチェル・イグノトフスキー、野中 モモ 著  
創元社

科学・技術・工学・数学(STEM)の分野で活躍しながら、歴史の陰にかくれがちだった女性科学者 50 人を取り上げ、その驚くべき業績やバイタリティあふれる人生を魅力的なイラストとともに紹介する。

2018:4./ 127p  
978-4-422-40038-9  
本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2018/05/05、毎日新聞 2018/05/27



**超国家主義の論理と心理〜他八篇〜(岩波文庫 38-104-3)**

古矢 旬 編  
丸山 眞男 著  
岩波書店

敗戦の翌年、日本軍国主義の精神構造に真っ向から対峙し、丸山の名を高めた表題作のほか、冷戦下でのマルクス主義とマッカーシズムについてなど、著者の原点たる戦後約10年の論考を集成。

2015:2./ 580p  
978-4-00-381043-9  
本体 ¥1,380+税



朝日新聞 2018/05/12



**海うそ(岩波現代文庫)**

梨木 香歩 著  
岩波書店

昭和の初め、人文地理学の研究者、秋野は南九州の遅島へ赴く。彼の心を捉えて離さないその島。そして地図に残された「海うそ」ということば。50年後、不思議な縁に導かれ、秋野は再び島を訪れる…。魂の遍歴の物語。

2018:4./ 5p,211p  
978-4-00-602298-3

本体 ¥740+税



朝日新聞 2018/05/12



**ドラゴンスリーパー**

長崎 尚志 著  
KADOKAWA

元上司・諸富が殺害された。“パイルドライバー”の異名をとる元刑事・久井は、イマドキの刑事・中戸川とコンビを組み、アドバイザーとして捜査を開始。すると諸富が追っていた未解決事件の裏に、不法滞在中国人の存在が…。

2018:4./ 289p

978-4-04-105721-6

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2018/05/12



**役人の生理学(講談社学術文庫 2206)**

オノレ・ド・バルザック、鹿島 茂 著  
講談社

19世紀、官僚組織の発生時に、バルザックが看破した役人の不変の生理とは？大文豪の観察眼が冴えわたるエッセイを収録するほか、バルザックの小説「役人」の概要と抜粋、フロベールの戯文、モーパッサンのエッセイも掲載。

2013:11./ 235p

978-4-06-292206-7

本体 ¥840+税



朝日新聞 2018/05/12



**広告が憲法を殺す日～国民投票とプロパガンダ CM～(集英社新書 0931)**

本間 龍、南部 義典 著  
集英社

日本の国民投票法には「広告の規制」がほとんどなく、広告業界は自民党と深く結びついている電通の一社寡占状態にある。これが意味することは何か-。巨大資本がもたらす「狂乱」をシミュレートし、制度の改善案を提言する。

2018:4./ 199p

978-4-08-721031-6

本体 ¥720+税



朝日新聞 2018/05/12



**セクシー田中さん<1>(フラワーコミックス)**

芦原 妃名子 著  
小学館

優秀な経理部員だけどアラフォー地味女の田中さん。婚活に励む 23 歳 OL・朱里は最近そんな田中さんが気になって仕方ない…秘密を抱えた田中さんを巡り、5人の「いい大人」がすれ違いまくりの恋を繰り広げる、新境地ドラマです！

2018:4./ 192p

978-4-09-870061-5

本体 ¥429+税



朝日新聞 2018/05/12



**数学する身体(新潮文庫 も-42-1)**

森田 真生 著  
新潮社

思考の道具として身体から生まれた数学。身体を離れ、高度な抽象化の果てにある可能性とは？ 数学を通して「人間」に迫る、若き異能の躍動するデビュー作。

2018:5./ 227p

978-4-10-121366-8

本体 ¥490+税



朝日新聞 2018/05/12



**日本の公教育～学力・コスト・民主主義～(中公新書 2477)**

中澤 渉 著  
中央公論新社

教育無償化、学力低下、待機児童など、近年の教育の論点は多岐にわたる。学校教育とはそもそも何のためにあるのか？ 学校とそれを取り巻く環境を歴史的背景や統計などのエビデンスを通して論じ、その社会的意義を明かす。

2018:3./ 4p,261p  
978-4-12-102477-0  
本体 ¥880+税



朝日新聞 2018/05/12



**植物は<未来>を知っている～9つの能力から芽生えるテクノロジー革命～**

ステファノ・マンクーズ、久保 耕司 著  
NHK出版

記憶力、特殊な運動能力、擬態力やインターネットのような分散化能力...。動かずに生きる植物は、さまざまな能力を磨いてきた。最新の科学で<植物と人間の驚異の未来>を刺激的に描く。「植物は<知性>をもっている」の続編。

2018:3./ 300p  
978-4-14-081733-9  
本体 ¥2,000+税



朝日新聞 2018/05/12



**帳簿の世界史(文春文庫 S22-1)**

ジェイコブ・ソール 著  
文藝春秋

なぜスペイン帝国は没落したのか、なぜフランス革命は起きたのか...。歴史の裏にはすべて、帳簿を駆使する会計士たちがいた。歴史家たちが見逃してきた「帳簿の世界史」を、会計と歴史のプロフェッショナルが紐解く。

2018:4./ 414p  
978-4-16-791060-0  
本体 ¥880+税



朝日新聞 2018/05/12



**緋文字(光文社古典新訳文庫 KA ホ 5-1)**

ホーソー 著  
光文社

胸に緋色の A の文字を付け、子供の父親の名を明かさず刑台に立つヘスター・プリンを、若き教区牧師と謎の医師が見守っていた。各々の罪を抱えた 3 つの魂が交わるとき、緋文字の秘密が明らかになり...。序文「税関」も収録。

2013:2./ 460p  
978-4-334-75267-5  
本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2018/05/12



**世界の選挙制度**

大林 啓吾、白水 隆、吉川 智志 著  
三省堂

一票の較差の問題など様々な課題が山積しているにも関わらず、遅々として改革が進まない日本の選挙制度。そもそも日本の制度は諸外国と比べてどうなのか。気鋭の学者が欧米、中国、韓国等の選挙制度を図表を多用して解説する。

2018:3./ 12p,242p  
978-4-385-32110-3  
本体 ¥2,600+税



朝日新聞 2018/05/12



**世界がわかる地理学入門～気候・地形・動植物と人間生活～(ちくま新書 1314)**

水野 一晴 著  
筑摩書房

世界各地の人間の暮らしは気候、地形、植生など色々なものの影響を受けている。50 か国以上を訪問した著者が、気候区分ごとに世界各地の自然環境と人々の暮らしを解説。楽しいエピソードや写真も満載。

2018:3./ 318p  
978-4-480-07125-5  
本体 ¥950+税



朝日新聞 2018/05/12



### エルサレムのアイヒマン～悪の陳腐さについての報告～ 新版

ハンナ・アーレント、大久保 和郎 著

みすず書房

組織と個人、ホロコーストと法、正義、人類への罪…。ハンナ・アーレントがアイヒマン裁判から考え、理解し、判断したこととは？ アーレントによる裁判の報告。最新の研究成果を反映させ、新たな解説も付した新版。

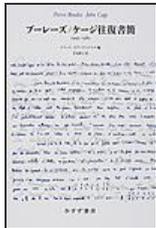
2017:8./ 3p,438p,31p

978-4-622-08628-4

本体 ¥4,400+税



朝日新聞 2018/05/12



### ブルーズ/ケージ往復書簡～1949-1982～

ブルーズ、ケージ、R.ピアンチコフスキ 編

ブルーズ、ケージ、笠羽 映子 著

みすず書房

20 世紀の音楽・芸術を代表したジョン・ケージとピエール・ブルーズ。1949 年から 1982 年まで、50 通に及ぶ 2 人の往復書簡と論考から、現代音楽創造の現場と 2 人の共感、距離感、決裂にいたる様子を明らかにする。

2018:4./ 4p,323p

978-4-622-08685-7

本体 ¥6,200+税



朝日新聞 2018/05/12



### 官僚制のユートピア～テクノロジー、構造的愚かさ、リベラリズムの鉄則～

デヴィッド・グレーバー、酒井 隆史 著

以文社

人類が夢見た「空飛ぶ自動車」をめぐる科学技術は、人間の内面を規制する「マネジメント=官僚制」を生み出した！ 新自由主義が自明のものとなった今日、それもまた空気と化している。無意識の現代性に切り込む文明批評。

2017:12./ 3p,380p

978-4-7531-0343-0

本体 ¥3,500+税



朝日新聞 2018/05/12



### 官僚制

マックス・ヴェーバー 著

恒星社厚生閣

朝日新聞 2018/05/12

1987:9./ 90p

978-4-7699-0598-1

本体 ¥1,200+税



### フェアトレードタウン～“誰も置き去りにしない”公正と共生のまちづくり～

渡辺 龍也 著

新評論

消費者がフェア(公正)な買い物をすることで、弱い立場におかれた発展途上国の生産者に人間らしい生活を保障する「フェアトレード」。熊本市、名古屋市、逗子市など、日本のフェアトレードタウン運動の先駆例を紹介する。

2018:3./ 314p

978-4-7948-1085-4

本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2018/05/12



### アマゾンのすごいルール

佐藤 将之 著

宝島社

アマゾンの最大の武器は、超合理的な「仕事術」だった。ビジネスモデル、リーダーシップ、人事評価、目標管理…。アマゾンジャパンの立ち上げメンバーが、最速×最高の結果を出す仕事術と 14 の心得を紹介する。

2018:4./ 287p

978-4-8002-8243-9

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2018/05/12



**歌川広重の声を聴く〜風景への眼差しと願い〜(プリミエ・コレクション 85)**

阿部 美香 著

京都大学学術出版会

江戸に生きた歌川広重が自らの目でとらえた風景を描き、それぞれの風景に対する思いを文章で記した「絵本江戸土産」。歌川広重が語り提示した風景観とはなんだったのか、「絵本江戸土産」を手掛かりに探る。

2018:3./ 282p

978-4-8140-0139-2

本体 ¥3,400+税



朝日新聞 2018/05/12



**誤解された大統領〜フーヴァーと総合安全保障構想〜**

井口 治夫 著

名古屋大学出版会

大恐慌への対応を批判され、無能とされた大統領フーヴァーの役割やその活動の意義について、人道支援・環境保護などの先駆的政策から再評価。米国政治の群像を鮮やかに捉えるとともに、日本の占領政策にも新たな光を当てる。

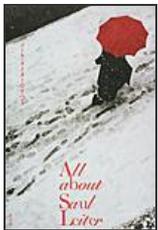
2018:3./ 6p,366p,48p

978-4-8158-0904-1

本体 ¥5,800+税



朝日新聞 2018/05/12



**ソール・ライターのすべて**

ソール・ライター 著

青幻舎

ソール・ライターの全貌を伝える写真集。ファッションから、ストリート、ヌード、絵画まで、約 230 点を収録するほか、柴田元幸等の寄稿も掲載。「作品」と「言葉」で彼の人生哲学を紡ぐ。

2017:5./ 307p

978-4-86152-616-9

本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2018/05/12



**Ibasyo〜自傷する少女たち“存在の証明”〜**

岡原 功祐 著

工作舎

「居場所がない」さまざまな経験を背負ってきた 5 人の女性たちの自傷行為をめぐるフォト・ドキュメンタリー。気鋭の写真家・岡原功祐が、自らを傷つけずにはいられなかった女性たちの細やかな心性を見つめ、綴る。

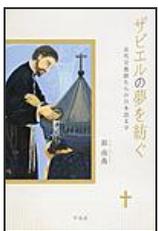
2018:3./ 369p

978-4-87502-490-3

本体 ¥2,800+税



朝日新聞 2018/05/12



**ザビエルの夢を紡ぐ〜近代宣教師たちの日本語文学〜**

郭 南燕 著

平凡社

キリスト教と日本の出会いは、美しい言葉を生み出した。先駆者フランシスコ・ザビエルから 20 世紀の「酒場神父」ジョルジュ・ネランまで 5 人の宣教師を取り上げ、彼らが綴った「日本語文学」などの業績と人物像を伝える。

2018:3./ 328p

978-4-582-70358-0

本体 ¥4,000+税



朝日新聞 2018/05/12、読売新聞 2018/05/20



**王政復古期シェイクスピア改作戯曲選集**

鹿児島近代初期英国演劇研究会 著

九州大学出版会

ハッピーエンドの「リア王」!? 英文学史上最も悪名高いテイトによる改作を含む、シェイクスピア改作劇 4 作品を本邦初訳。解説とともに収録する。原典とは違った魅力を持つ改作劇の世界に誘う書。

2018:4./ 2p,559p

978-4-7985-0224-3

本体 ¥6,000+税



朝日新聞 2018/05/12、読売新聞 2018/05/27



**声のサイエンス～あの人の声は、なぜ心を揺さぶるのか～(NHK 出版新書 548)**

山崎 広子 著  
NHK出版

なぜ人は録音した自分の声が嫌いなのか。どうして「いい声」の人の言葉には、そうでない人より説得力があるのか。声という神秘的で謎に満ちた「音」の正体を、多彩な知見と豊富な事例からひもとく。

2018:4./ 247p  
978-4-14-088548-2  
本体 ¥820+税



朝日新聞 2018/05/12、日本経済新聞 2018/05/26



**辺境中国～新疆、チベット、雲南、東北部に行く～**

デイヴィッド・アイマー 著  
白水社

中国の国境地帯で何が起きているのか?英国のジャーナリストが、国境地帯のみならず「境界の向こう側」にまで足を延ばし、急速に進む漢化政策に抗い、翻弄される少数民族の実相を描く。

2018:3./ 336p,8p  
978-4-560-09620-8  
本体 ¥2,800+税



朝日新聞 2018/05/12、日本経済新聞 2018/05/26



**奪うは我なり 朝倉義景**

吉川 永青 著  
KADOKAWA

名門朝倉家に生まれ、若くして家督を継いだ男は、もはや形骸化した幕府と將軍の世に己の活路を見いだし…。時に愚将と誹られながらも、一際異彩を放ち、信長をも追い詰めた男の生涯を鮮烈に描く。

2018:4./ 293p  
978-4-04-106442-9  
本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2018/05/13



**敗れども負けず**

武内 涼 著  
新潮社

使命に目覚める者、伴侶を見つけた者、負けることでしか望みを叶えられなかった者…。負の教訓として歴史に名を残す敗戦の将たちが、どん底から立ち上がる様を描く時代連作。『小説新潮』掲載に加筆し単行本化。

2018:3./ 249p  
978-4-10-350642-3  
本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2018/05/13



**アルマダ<上>(ハヤカワ文庫 SF 2174)**

アーネスト・クライン、池田 真紀子 著  
早川書房

田舎町で母と暮す高校生のザックは、異星艦隊と戦うオンラインゲーム<アルマダ>で世界 6 位の実力を持つゲーマー。あるとき校庭に降り立った 1 隻の宇宙船によって、ザックの日常は終わりを告げる…。

2018:3./ 305p  
978-4-15-012174-7  
本体 ¥780+税



朝日新聞 2018/05/13



**アルマダ<下>(ハヤカワ文庫 SF 2175)**

アーネスト・クライン、池田 真紀子 著  
早川書房

<アルマダ>は、地球防衛同盟軍が異星からの侵略に備え製作した訓練用シミュレーターだった。ザックは新兵として、月面基地へ配属を命じられる。激しい迎撃戦に臨むザックが知る、自身の家族と世界を巡る真実とは。

2018:3./ 317p  
978-4-15-012175-4  
本体 ¥780+税



朝日新聞 2018/05/13



**メカ・サムライ・エンパイア(新☆ハヤカワ・SF・シリーズ 5037)**

ピーター・トライアス、中原 尚哉 著

早川書房

大日本帝国が統治するアメリカ西海岸の「日本合衆国」。両親をテロで失った不二本誠は、巨大ロボット兵器「メカ」のパイロットを志望していたが...。「ユナイテッド・ステイツ・オブ・ジャパン」の続篇。文庫本も同時刊行。

2018:4./ 455p

978-4-15-335037-3

本体 ¥2,400+税



朝日新聞 2018/05/13



**くるとい咲き〜越前狂乱〜**

大塚 卓嗣 著

光文社

元亀元年、朝倉家家臣の小林吉隆は織田家との合戦中、富田長繁に命を救われる。吉隆と長繁は馬が合ったが、崩壊へと向かう朝倉家に見切りをつけた長繁は織田方へと寝返り...。歴史からかき消えた狂気の武将・富田長繁を描く。

2018:2./ 259p

978-4-334-91208-6

本体 ¥1,700+税



朝日新聞 2018/05/13



**せいめいのれきし〜地球上にせいめいがうまれたときからいままでのおはなし〜**

改訂版

岩波書店

地球のうえでの生命の歴史。それは、序幕はあっても終幕のない、おおきなおおきな劇。銀河系の誕生から現在のひとびとの生活までを、バートンが美しい絵とリズムのある文で紹介しします。最新の知見に合わせて見直した改訂版。

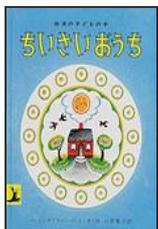
2015:7./ 76p

978-4-00-111250-4

本体 ¥1,700+税



朝日新聞 2018/05/19



**ちいさいおうち 改版(岩波の子どもの本)**

バージニア・リー・バートン 著

岩波書店

静かないなかに、ちいさなおうちがたっていました。リンゴの木や畑にかこまれて、たいへんしあわせでしたが、まわりに工場がたち、電車が通って、にぎやかな町になると...

1991:1.

978-4-00-115106-0

本体 ¥800+税



朝日新聞 2018/05/19



**不完全性定理(岩波文庫)**

ゲーデル 著

岩波書店

朝日新聞 2018/05/19

2006:9./ 309p

978-4-00-339441-0

本体 ¥840+税



**メタモルフォーゼの縁側<1>(単行本コミックス)**

鶴谷 香央理 著

KADOKAWA

たまたま立ち寄った書店、たまたま手にした一冊。そして始まる新しい物語-。これは75歳の老婦人と17歳の書店員が織りなすやさしく心に沁みる物語。

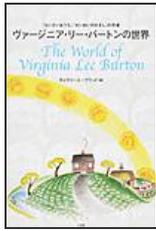
2018:5./ 139p

978-4-04-106830-4

本体 ¥780+税



朝日新聞 2018/05/19



**ヴァージニア・リー・バートンの世界～『ちいさいおうち』『せいめいのれきし』の作者～**

ギャラリーエークワッド 編

小学館

数多くの名作絵本を残し、世代を超えて愛されているヴァージニア・リー・バートン。「ちいさいおうち」試作絵本全ページ、テキスタイルのデザイン、秘蔵スケッチなどを収録する。日本初公開の貴重な資料が満載。

2018:3./ 127p  
978-4-09-682263-0

本体 ¥1,900+税



朝日新聞 2018/05/19



**英国公文書の世界史～一次資料の宝石箱～(中公新書ラクレ 613)**

小林 恭子 著

中央公論新社

米国独立宣言のポスター、シェイクスピアの遺言書、チャーチルの手書きメモ、ベートルズの来日報告書…。中世から現代までの膨大な歴史資料を網羅する英国国立公文書館に収蔵されている文書の、誕生経緯を解き明かす。

2018:3./ 284p

978-4-12-150613-9

本体 ¥880+税



朝日新聞 2018/05/19



**冬の炎(ハヤカワ文庫 NV 1433)**

グレン・エリック・ハミルトン、山中 朝晶 著

早川書房

軍を除隊し求職中のバンは、人探しを依頼され赴いた冬山で、若い男女の無残な死体を発見する。男性が女性を射殺して自殺したように見えたが、疑問を感じ真相を探りはじめたバンは…。「眠る狼」シリーズ第2弾。

2018:5./ 458p

978-4-15-041433-7

本体 ¥1,120+税



朝日新聞 2018/05/19



**継投論～投手交代の極意～(廣済堂新書 077)**

権藤 博、二宮 清純 著

廣済堂出版

打たれる前に代える。やられたらやり返す…。野球で一番難しいとされる「継投=投手交代」をめぐる、独特の継投理論を持つ権藤博と、完投重視の「先発選民思想」の愚を説く二宮清純が徹底討論する。

2017:12./ 207p

978-4-331-52128-1

本体 ¥850+税



朝日新聞 2018/05/19



**働く女の腹の底～多様化する生き方・考え方～(光文社新書 944)**

博報堂キャリアジョ研 著

光文社

「キャリア(職業)を持つ、特にお金と時間を自分のために使いやすい子どものいない女性」=通称「キャリアジョ」を徹底分析。今を生きる多様な女性たちのリアルに迫る。エッセイスト・犬山紙子のインタビューも収録。

2018:4./ 226p

978-4-334-04350-6

本体 ¥900+税



朝日新聞 2018/05/19



**働き方完全無双**

ひろゆき 著

大和書房

「新しいこと」にはとにかく首を突っ込んで! 「イヤなこと」をやるためのスキルを身につけよ! 「優秀なやつ」の足を引っ張るな! これからの日本で働いていく上で、相対的に有利になる働き方を伝授する。

2018:4./ 239p

978-4-479-79644-2

本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2018/05/19



**神道・儒教・仏教～江戸思想史のなかの三教～(ちくま新書 1325)**

森 和也 著  
筑摩書房

江戸時代の思想を支配していた神道・儒教・仏教にこそ、我々の内面の問題を解く鍵がある。これらはいかに交錯し、豊かな思想の世界をかたちづくっていたか。思想の原風景を探訪し、その再構成を試みる。

2018:4./ 434p,12p  
978-4-480-07139-2  
本体 ¥1,100+税



朝日新聞 2018/05/19



**友だち幻想～人と人の〈つながり〉を考える～(ちくまプリマー新書)**

菅野 仁 著  
筑摩書房

身近な人たちとの親しいつながりが大事だと思っていて、そのことに神経がすり減るぐらい気を遣っている。なのにうまくいかないのはなぜか。さまざまなキーワードにしたがって問題を整理し、人と人のつながりについて考える。

2008:3./ 156p  
978-4-480-68780-7  
本体 ¥740+税



朝日新聞 2018/05/19



**現代詩人探偵(創元推理文庫 M 8-1)**

紅玉 いづき 著  
東京創元社

ずっと諦めずに、詩を書いて生きていきたい。夢を語り合った9人の詩人の卵達。しかし10年後の再会の日、半数が自殺していた。孤独な探偵は、仲間の死にまつわる事情を探り始めるが…。ミステリ長編。

2018:4./ 314p  
978-4-488-48911-3  
本体 ¥740+税



朝日新聞 2018/05/19



**脱住宅～「小さな経済圏」を設計する～**

山本 理顕、仲 俊治 著  
平凡社

今の「1住宅=1家族」システムに代わる新たな住み方「地域社会圏」システムを提案。住宅を支えるエネルギーやインフラ、介護の仕組み、家族の内側だけに頼らない子育ての仕組み等と共に、住宅の供給システムについて考える。

2018:3./ 255p  
978-4-582-54462-6  
本体 ¥2,800+税



朝日新聞 2018/05/19



**中井久夫集<6> いじめの政治学**

中井 久夫 著  
みすず書房

透徹した理性と柔軟な感性、研ぎ澄まされたアンテナ感覚で人と時代を捉えてきた精神科医・中井久夫。その半世紀におよぶ思考と実践の道筋を追う。6 は、子どもの世界の政治学を分析した「いじめの政治学」ほか多数収録。

2018:4./ 335p  
978-4-622-08576-8  
本体 ¥3,400+税



朝日新聞 2018/05/19



**<創造>の秘密～シェイクスピアとカフカとコンラッドの場合～**

野上 勝彦 著  
彩流社

ある種の作家には、なぜ「独創性」や「創造性」が顕著に現れるのか? シェイクスピア、カフカ、コンラッドに共通する「斬新さ」はいかにして生まれるのか、作品に現れたその「痕跡」を精緻に探る。

2018:4./ 254p  
978-4-7791-2455-6  
本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2018/05/19



**育てる技術～元祖プロ・コーチが教える～**

ジョン・ウッデン、スティーブ・ジェイミソン、弓場 隆 著  
ディスカヴァー・トゥエンティワン

指導者とは、人びとに意欲を起こさせるために銃を必要としない人のことである。カリーム・アブドゥル・ジャバー、ビル・ウォルトンを育てた UCLA バスケット部の伝説の名コーチが語るリーダーシップの神髄。

2014:1./ 154p  
978-4-7993-1450-0  
本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2018/05/19



**響け! ユーフォニアム～北宇治高校吹奏楽部へようこそ～(宝島社文庫 C た-8-2)**

武田 綾乃 著  
宝島社

かつては強豪校だったが、顧問が変わってからは関西大会にも進めていない北宇治高校吹奏楽部。しかし、新しく赴任した滝昇の厳しい指導のもと、生徒たちは着実に力をつけていき…。少女たちの心の成長を描く青春エンタメ小説。

2013:12./ 319p  
978-4-8002-1747-9  
本体 ¥657+税



朝日新聞 2018/05/19



**余白の声～文学・サルトル・在日～**

鈴木 道彦 著  
閏月社

日本とフランス、文学と社会、歴史と責任…。<越境する知識人>が“人生の余白”に語る、後世へ向けたマージナル・ノート。2004?2017 年に行った講演を書籍化。

2018:3./ 221p  
978-4-904194-05-8  
本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2018/05/19



**My Room～天井から覗く世界のリアル～**

John Thackway 著  
ライツ社

格差、矛盾、夢、歴史…あるフランス人が 6 年かけて世界を旅し、世界の「違い」を「同じアングル」であぶり出した写真集。84 名の若者が部屋の中心に座っているところを天井から撮影し、彼らのインタビューとともに収録する。

2018:3./ 186p  
978-4-909044-11-2  
本体 ¥2,800+税



朝日新聞 2018/05/19



**トリダシ(文春文庫 ほ 18-4)**

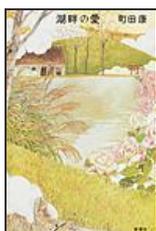
本城 雅人 著  
文藝春秋

「影の GM」と噂されるほど優秀な記者だが、その個性は強烈で社内外でも敵が多い。東西スポーツ野球部のデスク鳥飼とは何者なのか? 著者の記者体験をもとにスポーツ紙の現場を描く連作短編。

2018:4./ 367p  
978-4-16-791048-8  
本体 ¥850+税



朝日新聞 2018/05/19、読売新聞 2018/05/27



**湖畔の愛**

町田 康 著  
新潮社

龍神が棲むという湖のほとりには、今日も一面、霧が立ちこめる。創業 100 年を迎えた九界湖ホテルは、笑いと愛のニルバーナ! 天変地異を呼ぶ笑劇恋愛小説。全 3 編を収録。『新潮』掲載を単行本化。

2018:3./ 252p  
978-4-10-421503-4  
本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2018/05/19、毎日新聞 2018/05/20



**韓国の民衆美術(ミンジュン・アート)~抵抗の美学と思想~**

古川 美佳 著  
岩波書店

1980年代の韓国民主化運動を支えた「民衆美術(ミンジュン・アート)」。社会変革へと転化させる芸術のダイナミズムはなぜ生まれたのか? 成立の背景や現在にまで至る表現様式の変遷を体系的に明らかにする。

2018:4./ 16p,279p,4p  
978-4-00-061249-4

本体 ¥3,400+税



朝日新聞 2018/05/26



**青い月の石(岩波少年文庫 244)**

トンケ・ドラフト、西村 由美 著  
岩波書店

地面の下から、地下世界の王が現れた。その名はマホツヘルチェ。ヨーストとヤンは勇気をだして足跡を追うが…。月が青くなったときに、少年の特別な冒険が始まる!

2018:2./ 334p

978-4-00-114244-0

本体 ¥760+税



朝日新聞 2018/05/26



**学問の進歩(岩波文庫 青 617-1)**

フランシス・ベーコン 著  
岩波書店

朝日新聞 2018/05/26

1974:1./ 396p

978-4-00-336171-9

本体 ¥940+税



**1945年のクリスマス~日本国憲法に「男女平等」を書いた女性の自伝~(朝日文庫 青 36-1)**

ベアテ・シロタ・ゴードン 著  
朝日新聞出版

女性が幸せにならなければ、日本は平和にならない。10年間日本で育ち、22歳の若さで日本国憲法 GHQ 草案の作成に参加、現在の人権条項の原型を書いた女性の自伝。ジョン・ダワーの寄稿を増補して文庫化。

2016:6./ 394p

978-4-02-261857-3

本体 ¥860+税



朝日新聞 2018/05/26



**火の中の竜~ネットコンサルタント「さらまんどら」の炎上事件簿~(メディアワークス文庫 み 12-1)**

汀 こるもの 著  
KADOKAWA

パソコン教室の講師であるぼくが、32万アクセスの大炎上案件解決のために頼ったのは、インターネットよろず相談所「さらまんどら」。所長のオメガに仲間に入れられたぼくは、「非常識な解決」を目の当たりにする…。

2018:4./ 275p

978-4-04-893836-5

本体 ¥630+税



朝日新聞 2018/05/26



**習近平が変えた中国**

天兒 慧、茅原 郁生 著  
小学館

習近平は中国にどんな変化をもたらしたのか。7つのテーマで中国の過去と現在を図解するとともに、南シナ海問題や反腐敗運動など12のテーマを読み解く。「日本大百科全書(ニッポニカ)」から関連の深い110項目も収録。

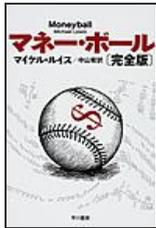
2018:4./ 253p

978-4-09-388614-7

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2018/05/26



**マネー・ボール 完全版(ハヤカワ文庫 NF 387)**

マイケル・ルイス、中山 宥 著  
早川書房

1990年代末、弱小球団アスレチックスの新任ゼネラルマネージャー、ビリー・ビーンは、統計データを駆使した野球界の常識を覆す手法で球団を改革。チームを強豪へと導き…。全訳版。出版後日談なども収録。

2013:4./ 462p  
978-4-15-050387-1  
本体 ¥940+税



朝日新聞 2018/05/26



**日の名残り**

カズオ・イシグロ、土屋 政雄 著  
早川書房

品格ある執事の道を追求し続けてきたステイブンスは、短い旅に出た。執事の鑑だった亡父、女中頭への淡い想い、邸内で催された重要な外交会議…。過ぎ去りし思い出は、輝きを増して胸の中で生き続け…。村上春樹の解説つき。

2018:4./ 322p  
978-4-15-209758-3  
本体 ¥2,700+税



朝日新聞 2018/05/26



**羊と鋼の森(文春文庫 み 43-2)**

宮下 奈都 著  
文藝春秋

ゆるされている。世界と調和している。それがどんなに素晴らしいことか。ピアノの調律に魅せられた一人の青年が、調律師として、人として成長する姿を、温かく静謐な筆致で綴る。2018年6月公開映画の原作。

2018:2./ 274p  
978-4-16-791010-5  
本体 ¥650+税



朝日新聞 2018/05/26



**さざなみのよる**

木皿 泉 著  
河出書房新社

小国ナスミ、享年 43 歳。息をひきとった瞬間から、その死は湖に落ちたひと雫の波紋のように、家族や知人へと広がっていき…。命のまばゆいきらめきを描いた感動と祝福の物語。5年ぶりの小説、第2作。

2018:4./ 221p  
978-4-309-02525-4  
本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2018/05/26



**日航 123 便墜落の新事実～目撃証言から真相に迫る～**

青山 透子 著  
河出書房新社

墜落現場特定と救助はなぜ遅れたのか。目撃された戦闘機の追尾とは…。日航 123 便墜落事故で仲間を失った元客室乗務員が、新たな情報や目撃証言から墜落の真相を解き明かす。

2017:7./ 205p  
978-4-309-02594-0  
本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2018/05/26



**教師の歴史～ヴィジュアル版～**

ディアドラ・ラフテリー、立石 弘道 著  
国書刊行会

教師にかかわる絵画や画像を多数使用し、古代から現代までの世界の彼らの役割や歴史の変化について、わかりやすくひもとく。教育改革と改革者たち、教師としての博物館・美術館なども取り上げる。

2018:5./ 190p  
978-4-336-06255-0  
本体 ¥5,800+税



朝日新聞 2018/05/26



### 文化戦争～やわらかいプロパガンダがあなたを支配する～

ネイトー・トンプソン、大沢 章子 著

春秋社

大統領選挙キャンペーン、イラク占領、都市開発、アップルやスターバックスの企業戦術…。巨大権力の<文化>をまとった人心操作術は、社会にどんな影響を与えているのか。世界を動かす力学を考察した、切れ味鋭い社会批評。

2018:3./ 291p,8p

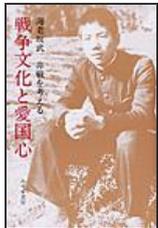
978-4-393-33361-7

本体 ¥2,400+税



\* 9 7 8 4 3 9 3 3 3 3 6 1 7 \*

朝日新聞 2018/05/26



### 戦争文化と愛国心～非戦を考える～

海老坂 武 著

みすず書房

教科書に歴史物語、軍歌、家庭では新聞や雑誌、ラジオを通じて、戦争の言葉を、時代の狂気を擦り込まれた少年時代。戦争を誘発し、戦争への道を用意する<戦争文化>がどのように日本を覆っていったかを検証する。

2018:3./ 8p,341p

978-4-622-08518-8

本体 ¥3,800+税



\* 9 7 8 4 6 2 2 0 8 5 1 8 8 \*

朝日新聞 2018/05/26



### ロボット・AIと法

穴戸 常寿 編

有斐閣

ロボット・AI が社会に受容され、活用されるためには、それらに対応するための法制度の整備が必要となる。現在生じつつある問題から近未来に起きうる問題までを視野に入れ、法学からの知見を提示する。

2018:4./ 12p,316p

978-4-641-12596-4

本体 ¥2,600+税



\* 9 7 8 4 6 4 1 1 2 5 9 6 4 \*

朝日新聞 2018/05/26



### 漢倭奴国王から日本国天皇へ～国号「日本」と称号「天皇」の誕生～(京大人文研東方学叢書 4)

富谷 至 著

臨川書店

中華世界に從属した「倭」「王」は、いつ「日本」「天皇」への脱皮をはかったのか。国号「日本」、称号「天皇」の誕生の解明を念頭に、紀元前より数世紀にわたって繰り広げられた古代日本の対中国交渉の歴史に迫る。

2018:4./ 213p,9p

978-4-653-04374-4

本体 ¥3,000+税



\* 9 7 8 4 6 5 3 0 4 3 7 4 4 \*

朝日新聞 2018/05/26



### ホッキョクグマ

ジェニ・デズモンド 著

BL出版

北極海とその周辺の島や大陸の、氷と雪の上で生きているホッキョクグマの体はどうなっているの?毛は?食べ物は何?子育ては?実際にほとんど目にする事のない野生のホッキョクグマを、子どもの目で楽しく伝える。

2018:3./ 41p

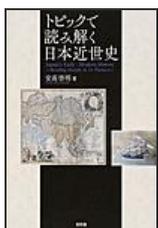
978-4-7764-0782-9

本体 ¥1,600+税



\* 9 7 8 4 7 7 6 4 0 7 8 2 9 \*

朝日新聞 2018/05/26



### トピックで読み解く日本近世史

安高 啓明 著

昭和堂

キリスト教布教と伴天連追放令。徳川吉宗と享保の改革。明治政府の樹立と宗教政策…。日本近世史の14テーマを、歴史学研究に必要な「先行研究の整理」「フィールドワーク」「資料の解説」など7つの視点から解説する。

2018:4./ 11p,263p

978-4-8122-1706-1

本体 ¥2,200+税



\* 9 7 8 4 8 1 2 2 1 7 0 6 1 \*

朝日新聞 2018/05/26



**がんと生きる**

小橋 建太 著  
ワニブックス

引退からの 5 年間、がんと向き合い方、家族のこと、ファンのこと…。2006 年に腎臓がんを宣告された著者が、術後からの 10 年間を綴る。車いすバスケの鉄人・京谷和幸との対談も収録。

朝日新聞 2018/05/26

2018:4./ 235p  
978-4-8470-9650-1  
本体 ¥1,296+税



**?外・ドイツみやげ三部作**

森 ?外、荻原 雄一 著  
未知谷

?外がこんなに面白いなんて! ドイツ留学から帰国した森?外が、ほぼ 1 年の間に発表した「舞姫」「うたかたの記」「文づかい」。近代自我の目覚めと挫折をテーマに書かれた?外の初期作品を現代語訳で蘇らせる。

朝日新聞 2018/05/26

2018:5./ 166p  
978-4-89642-550-5  
本体 ¥2,000+税



**中国抗日ドラマ読本～意図せざる反日・愛国コメディ～(中国ドラマ読本)**

岩田宇伯 著  
トランスビュー

時代背景完全無視! 共産党も大激怒! 反日プロパガンダどころかもはやギャグ! 21 作品・678 話・総上映時間数 30180 分

朝日新聞 2018/05/26

2018:4./ 240p  
978-4-908468-23-0  
本体 ¥2,300+税



**鳥! 驚異の知能～道具をつくり、心を読み、確率を理解する～(ブルーボックス B-2053)**

ジェニファー・アッカーマン 著  
講談社

鳥は道具を操り、他者の心を読み、確率を理解し、数百の歌を学び、数千キロを地図なしで旅する。最新科学に基づいて、世界中にいる翼の生えた天才たちの知的な行動や能力を紹介し、「知能とは何か」に迫る。

東京・中日新聞 2018/05/06

2018:3./ 411p  
978-4-06-502053-1  
本体 ¥1,300+税



**元号～年号から読み解く日本史～(文春新書 1156)**

所 功、久禮 旦雄、吉野 健一 著  
文藝春秋

「平成」の次の元号は何になるのか? 年号・天皇研究の第一人者が、その千数百年に及ぶ、日本の歴史とのかかわり、元号決定のメカニズムなどをわかりやすく解説する。日本公年号年表等も収録。

東京・中日新聞 2018/05/06

2018:3./ 350p  
978-4-16-661156-0  
本体 ¥1,000+税



**評伝島成郎～ブントから沖縄へ、心病む人びとのなかへ～**

佐藤 幹夫 著  
筑摩書房

60 年安保を主導したブント書記長の、もうひとつの闘い。それは沖縄の精神医療の現場だった。霧に閉ざされていた島成郎の後半生を、圧倒的な取材をもとに描いた評伝。

東京・中日新聞 2018/05/06

2018:3./ 351p  
978-4-480-81846-1  
本体 ¥2,600+税





**福祉と格差の思想史(ミネルヴァ現代叢書 2)**

橋本 俊詔 著  
ミネルヴァ書房

知恵を出し合って種々の福祉制度を創設し、かつそれがうまく運営できるような工夫を重ねてきた学者と政治家。それぞれの役割分担を詳細に検討して、いかに社会保障制度がうまく機能するようになったかを示す。

東京・中日新聞 2018/05/06

2018:2./ 12p,258p,9p

978-4-623-08146-2

本体 ¥2,800+税



\* 9 7 8 4 6 2 3 0 8 1 4 6 2 \*



**ヌヌ完璧なベビーシッター(集英社文庫 ス12-1)**

レイラ・スリマニ、松本 百合子 著  
集英社

パリのアパルトマンで起きた悲劇。子守りと家事を任された“ヌヌ”であるルイーズが、若い夫婦の幼い長女と長男を殺したのだ。そしてルイーズも後を追うように自殺を図り。完璧なヌヌに見えた彼女がなぜ? 心理サスペンス。

東京・中日新聞 2018/05/06、朝日新聞 2018/05/12

2018:3./ 269p

978-4-08-760748-2

本体 ¥700+税



\* 9 7 8 4 0 8 7 6 0 7 4 8 2 \*



**ねみみにみみず**

東江 一紀、越前 敏弥 編  
東江 一紀 著

作品社

迫りくる締切地獄で七転八倒しながらも、言葉とパチンコと競馬に真摯に向き合い、200冊を超える訳書を生んだ翻訳の巨人、東江一紀。その日常と知られざる生態、翻訳哲学を明かすエッセイ集。

東京・中日新聞 2018/05/06、朝日新聞 2018/05/19、日本経済新聞 2018/05/26

2018:4./ 256p

978-4-86182-697-9

本体 ¥1,800+税



\* 9 7 8 4 8 6 1 8 2 6 9 7 9 \*



**共謀〜トランプとロシアをつなぐ黒い人脈とカネ〜**

ルーク・ハーディング、高取 芳彦、米津 篤八、井上 大剛 著  
集英社

関係者の辞任、起訴が続いて捜査の進展に注目が集まるロシア疑惑。ガーディアン紙の元ロシア特派員が、騒ぎの発端となった秘密文書の書き手をはじめ、ロシア人の情報源に取材し、トランプ-プーチン間の秘密のルートを暴く。

東京・中日新聞 2018/05/06、読売新聞 2018/05/06、日本経済新聞 2018/05/12

2018:3./ 407p

978-4-08-781658-7

本体 ¥2,300+税



\* 9 7 8 4 0 8 7 8 1 6 5 8 7 \*



**鎖国前夜ラプソディ〜榎窩と家康の「日本の大航海時代」〜(講談社選書メチエ 669)**

上垣外 憲一 著  
講談社

そのとき日本は世界の最先端にいた! 現実政治家・徳川家康と理想主義者・藤原惺窩の邂逅が生み出した「日本の大航海時代」は、鎖国前の輝ける時代だった。戦乱から体制確立へと移りゆく時代の実像を大胆に描き出す。

東京・中日新聞 2018/05/13

2018:2./ 244p

978-4-06-258672-6

本体 ¥1,650+税



\* 9 7 8 4 0 6 2 5 8 6 7 2 6 \*



**百貨店の展覧会〜昭和のみせもの 1945-1988〜**

志賀 健二郎 著  
筑摩書房

戦後、都心の各百貨店は競うようにして文化的な催し物に取り組んだ。国宝級の美術品、ニュースや事件、文学者、漫画、昆虫、生け花...。戦後カルチャーを創りだした百貨店展覧会の歩みから、昭和という一時代をふり返る。

東京・中日新聞 2018/05/13

2018:3./ 254p

978-4-480-86458-1

本体 ¥2,500+税



\* 9 7 8 4 4 8 0 8 6 4 5 8 1 \*



**十五の夏～1975～<上>**

佐藤 優 著  
幻冬舎

高1の夏休み、僕はたった1人でソ連・東欧を旅行した。チューリヒ、シャフハウゼン、シュツットガルト…。佐藤優のソ連・東欧1人旅42日間の全記録。『星星峡』『ポンツーン』掲載を加筆修正。見返しに写真あり。

東京・中日新聞 2018/05/13、朝日新聞 2018/05/19

2018:3./ 433p  
978-4-344-03270-5  
本体 ¥1,800+税



**十五の夏～1975～<下>**

佐藤 優 著  
幻冬舎

高1の夏休み、僕はたった1人でソ連・東欧を旅行した。モスクワ、サマルカンド、タシケント、ハバロフスク…。佐藤優のソ連・東欧1人旅42日間の全記録。『星星峡』『ポンツーン』掲載を加筆修正。見返しに写真あり。

東京・中日新聞 2018/05/13、朝日新聞 2018/05/19

2018:3./ 435p  
978-4-344-03271-2  
本体 ¥1,800+税



**京都学派(講談社現代新書 2466)**

菅原 潤 著  
講談社

戦前、世界最先端の哲学を目指した日本唯一の「学派」は、なぜ「戦争協力者」へと墮ちたのか? 西田幾多郎、田辺元を中心とした京都学派の流れを、戦後の動向も含めて通史的に追い、ポスト京都学派の命運を探る。

東京・中日新聞 2018/05/20

2018:2./ 264p  
978-4-06-288466-2  
本体 ¥900+税



**日本の分断～切り離される非大卒若者たち～(光文社新書 945)**

吉川 徹 著  
光文社

団塊世代の退出後、見えてくるのは新たな分断社会の姿だった。計量社会学者が最新の社会調査データを元に、大卒層と非大卒層の分断の深刻さに注目しながら、社会を支える現役世代の意識と分断の実態を描き出す。

東京・中日新聞 2018/05/20

2018:4./ 262p  
978-4-334-04351-3  
本体 ¥860+税



**跳べない蛙～北朝鮮「洗脳文学」の実体～**

金 柱聖 著  
双葉社

なぜ北朝鮮の人民は金一族の圧政に耐え続けているのか。その答えは、物語で人の感性をくすぐりながら洗脳していく「思考を奪うための文学」にあった。北朝鮮で党の作家だった脱北者の著者が、北朝鮮文学の裏側を明かす。

東京・中日新聞 2018/05/20

2018:4./ 275p  
978-4-575-31351-2  
本体 ¥1,500+税



**美空ひばり最後の真実**

西川 昭幸 著  
さくら舎

戦後の焼け跡に彗星のごとく現れ、不屈の魂で夢を?んだ昭和の天才歌姫・美空ひばり。彼女を支えたスタッフや関わった人たちについて、当時の証言や記録を交えながら綴る。初めて明かされる秘話が満載。

東京・中日新聞 2018/05/20

2018:4./ 414p  
978-4-86581-146-9  
本体 ¥1,800+税





### 越えてくる者、迎え入れる者～脱北作家・韓国作家共同小説集～

ト ミョンハク、イ ジミョン、ユン ヤングル、キム チョンエ、ソル ソンア、イ ウン  
チョル、李 青海、李 平宰、鄭 吉娟、尹 厚明、李 星雅、方 珉昊、慎 珠熙、  
和田 とも美 著

アジアプレス・インターナショナル出版部

北朝鮮から生活の困難さに耐えかねて脱出し、韓国に定着した「脱北作家」が、  
塗炭の苦しみに耐える北朝鮮人民の姿を様々な角度から描いた 6 篇と、韓国の  
作家が脱北者と韓国の人々との関わりを扱った 7 篇を収録した小説集。

東京・中日新聞 2018/05/20

2017:12./ 286p  
978-4-904399-13-2

本体 ¥1,380+税



\* 9 7 8 4 9 0 4 3 9 9 1 3 2 \*



### モンテレージョ小さな村の旅する本屋の物語

内田 洋子 著

方丈社

イタリアの権威ある書店賞発祥の地がなぜ、トスカーナの山奥にあるのか? 舞台と  
なった山深きモンテレージョ村に居を構え取材した著者による歴史ノン・フィクシ  
ョン。方丈社 HP 連載に書き下ろしを加えて書籍化。

東京・中日新聞 2018/05/20、毎日新聞 2018/05/20

2018:4./ 346p

978-4-908925-29-0

本体 ¥1,800+税



\* 9 7 8 4 9 0 8 9 2 5 2 9 0 \*



### 魂の秘境から

石牟礼 道子 著

朝日新聞出版

海が汚染されるということは、ご先祖さまの魂のよりどころが破壊されるということ。  
水俣・不知火海の風景の記憶と幻視の光景を綴った、著者最晩年の肉声。『朝日  
新聞』掲載を単行本化。

東京・中日新聞 2018/05/27

2018:4./ 236p

978-4-02-251550-6

本体 ¥1,700+税



\* 9 7 8 4 0 2 2 5 1 5 5 0 6 \*



### 鵄

三田 完 著

KADOKAWA

演出家・充彦のもとに入った、1 本の電話。いい加減、子どもを認知してほしい。  
作家としても活躍を続ける充彦だが、私生活は修羅の連続だった。蘇る過去の記  
憶、官能と怪異、醜聞の果てに充彦が見た真実とは。

東京・中日新聞 2018/05/27

2018:3./ 247p

978-4-04-104909-9

本体 ¥1,700+税



\* 9 7 8 4 0 4 1 0 4 9 0 9 9 \*



### シェイクスピア劇を楽しんだ女性たち～近世の観劇と読書～

北村 紗衣 著

白水社

女性たちはいかにシェイクスピアを受容し、その正典化に影響を与えてきたか。フ  
ォリオへの書き込みが物語るもの、批評や研究、ファン的一大イベントなどを通し  
て、18 世紀までの女性の観客や読者が果たした役割を探求する。

東京・中日新聞 2018/05/27

2018:3./ 230p,79p

978-4-560-09600-0

本体 ¥2,800+税



\* 9 7 8 4 5 6 0 0 9 6 0 0 0 \*



### 埋葬からみた古墳時代～女性・親族・王権～(歴史文化ライブラリー 465)

清家 章 著

吉川弘文館

数多くの古墳群の発掘成果(埋葬施設・副葬品・人骨の性別)から埋葬のルール  
(埋葬原理)を抽出。古墳時代の親族・女性首長たちの活躍や王位継承のあり方  
を分析する。「王朝交替論」についても一石を投じる。

東京・中日新聞 2018/05/27

2018:5./ 7p,265p

978-4-642-05865-0

本体 ¥1,800+税



\* 9 7 8 4 6 4 2 0 5 8 6 5 0 \*



**孤狼の血(角川文庫 ゆ 14-1)**

柚月 裕子 著  
KADOKAWA

昭和 63 年、広島。新人刑事の日岡は、ヤクザとの癒着を噂される刑事・大上のもとで、暴力団系列の金融会社社員が失踪した事件を追うことになり…。常識外れのマル暴刑事と極道の闘いを描く。

2017:8./ 460p  
978-4-04-104954-9  
本体 ¥760+税



読売新聞 2018/05/06



**凶犬の眼**

柚月 裕子 著  
KADOKAWA

田舎の駐在所に異動となり、穏やかな毎日に虚しさを感じている日岡。ある日、懇意のヤクザから紹介された男が、指名手配中の国光であることに気づき…。『小説野性時代』連載を加筆し単行本化。

2018:3./ 333p  
978-4-04-104955-6  
本体 ¥1,600+税



読売新聞 2018/05/06



**ブラックペアン 1988(講談社文庫 か 115-4)**

海堂 尊 著  
講談社

1988 年、世はバブル景気の頂点。「神の手」をもつ佐伯教授が君臨する東城大学外科教室に、帝華大の高階講師が、食道癌の手術の新兵器「スナイプ」を手みやげに送り込まれてきた。患者を救うのは「神の手」か「新兵器」か?

2012:4./ 377p  
978-4-06-277242-6  
本体 ¥695+税



読売新聞 2018/05/06



**マダム・キュリーと朝食を(集英社文庫 こ 40-1)**

小林 エリカ 著  
集英社

どうして目に見えないもののことは大切にできないんだろう-。放射線の見える猫と、震災の年に生まれた少女。ラジウムの発見は世の中を大きく変えたというが、一体どんな風に? 1 匹と 1 人はエネルギーの歴史を知る旅に出る。

2018:3./ 206p  
978-4-08-745713-1  
本体 ¥500+税



読売新聞 2018/05/06



**無影燈<上>(集英社文庫 わ 1-44)**

渡辺 淳一 著  
集英社

個人病院で勤務医として働く直江庸介。優秀な外科医でありながら大学でのエリート道をあっさり捨てた、どこか陰のある男だった。看護婦の倫子は、そんな直江に惹かれ愛するようになるが、彼には人に言えない秘密があり…。

2012:7./ 414p  
978-4-08-746863-2  
本体 ¥650+税



読売新聞 2018/05/06



**秀吉の能楽師(中公文庫 お 82-3)**

奥山 景布子 著  
中央公論新社

その男の使命は、天下人を能に狂わせること-。不可解な密命を帯び、利休亡き後の太閤秀吉に近づく能楽師・暮松新九郎。やがて家康、利家まで巻き込み、能に熱中していく秀吉だが、密命の意外な黒幕が姿を現し…。

2018:4./ 313p  
978-4-12-206572-7  
本体 ¥800+税



読売新聞 2018/05/06



### 小屋を燃す

南木 佳士 著  
文藝春秋

定年退職後、同世代の男たちと魚を釣り、小屋を作って酒を呑む。夕暮れに古い記憶が訪れ…。医師として生死を誠実に見守りつづけた著者にしか描きえぬ、充実の作品集。『文學界』掲載に書き下ろしを加えて単行本化。

2018:3./ 202p  
978-4-16-390819-9  
本体 ¥1,500+税



読売新聞 2018/05/06



### 火星で生きる(TED ブックス)

スティーブン・ペトラネック、石塚 政行 著

朝日出版社

数々の科学誌編集長を歴任したジャーナリストが、宇宙開発史から火星移住の環境的・経済的な実現の可能性まで、最後のフロンティア・火星の先にある人類の未来を活写する。

2018:4./ 194p  
978-4-255-01052-6  
本体 ¥1,650+税



読売新聞 2018/05/06



### 着物の事典～伝統を知り、今様に着る～

大久保 信子 著

池田書店

着物・帯・小物の基礎知識から、季節に合わせたコーディネート法、着付けのルール、買い方・しまい方、和の立ち居ふるまいまで、カラー写真でわかりやすく解説。着物を美しく着こなすアドバイスが満載。

2011:4./ 239p  
978-4-262-16016-0  
本体 ¥1,900+税



読売新聞 2018/05/06



### 谷崎潤一郎文学の着物を見る～耽美・華麗・悪魔主義～(らんぷの本)

大野 らふ、中村 圭子 著

河出書房新社

谷崎潤一郎の「細雪」は、着物を愛する女性の間でバイブルのように読まれる作品。そのモデルになった女性たちの着物姿を写真や文章をもとに再現し、同時代の挿絵とともに掲載。「痴人の愛」「春琴抄」等の作品も取り上げる。

2016:3./ 159p  
978-4-309-75021-7  
本体 ¥1,900+税



読売新聞 2018/05/06



### じっと手を見る

窪 美澄 著

幻冬舎

富士山を望む町で介護士として働く、かつて恋人同士だった日奈と海斗。東京に住む宮澤と出会い、この町以外に思いを馳せる日奈。一方、海斗は同僚と仲を深め町に縛り付けられていく…。『GINGER L.』他掲載を書籍化。

2018:4./ 279p  
978-4-344-03275-0  
本体 ¥1,400+税



読売新聞 2018/05/06



### たまもの(ちくま文庫 か 72-1)

神藏 美子 著

筑摩書房

二人の男性への愛と思いに、揺れ動き、引き裂かれた 5 年間の自分の姿を、赤裸々に、しかし哀しみをたたえた写真と当時の日記で捉えた一冊。自分と二人の男との関係を見つめ続ける私的ドキュメンタリー。

2018:3./ 325p  
978-4-480-43510-1  
本体 ¥1,200+税



読売新聞 2018/05/06



### 男のチャーハン道(日経プレミアシリーズ 330)

土屋 敦 著

日本経済新聞出版社

パラパラのチャーハンを作るのに、卵コーティングは正しいのか? 火力は、油の量は、鍋は、具材は...? 苦節数年、誰もが家庭で「パラパラ」にするカギが、ある身近な食材にあることを突き止め...。世界一長いレシピ第3弾。

2018:4./ 237p

978-4-532-26330-0

本体 ¥850+税



読売新聞 2018/05/06



### きもの文様図鑑～明治・大正・昭和に見る～

長崎 巖、弓岡 勝美 著

平凡社

長い時をかけて生きてきたきもの文様のなかから、明治・大正・昭和初期の文様 686 点をカラー図版で紹介する。古典風ありモダンなものありと、多彩な表現をカバーした文様図鑑。

2005:6./ 270p

978-4-582-62039-9

本体 ¥3,000+税



読売新聞 2018/05/06



### さまよう民主主義～アウトサイダーの台頭は政党政治の終焉なのか～

スティーヴ・リチャーズ、高崎 拓哉 著

ハーパーコリンズ・ジャパン

トランプ政権、ブレグジット、移民排斥。いま、いくつもの民主主義国家で、アウトサイダーの登場をきっかけに、政治の世界に激震が走っている。BBC の名物政治解説者が、激動のグローバル政治を読む。

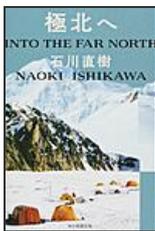
2018:2./ 327p

978-4-596-55124-5

本体 ¥2,000+税



読売新聞 2018/05/06



### 極北へ

石川 直樹 著

毎日新聞出版

20 歳のとき、北米最高峰デナリの頂にはじめて立った。このアラスカ遠征から極北へ向かうすべての旅がはじまった。世界を駆け抜ける写真家の原点となった極北への旅を綴る。『本の時間』『新潮』連載を加筆し単行本化。

2018:3./ 207p

978-4-620-32428-9

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2018/05/06



### ユーリー・テミルカーノフ モノローグ

ユーリー・テミルカーノフ、ジャミーリヤ・ハガロヴァ、小川 勝也 著

アルファベータブックス

生い立ちや数々の芸術活動、祖国への想い、音楽以外で彼に喜びを与えるもの...。ロシア音楽界の巨匠ユーリー・テミルカーノフへのこれまでのインタビューをもとに再構成した自叙伝。貴重な写真も多数掲載。

2018:2./ 311p

978-4-86598-049-3

本体 ¥2,500+税



読売新聞 2018/05/06



### こころに残ること～思い出のアイランド～

アリス・テイラー、高橋 歩 著

未知谷

濃密な人間関係、消えてしまった習慣、なくなりつつある風景...。1940 年代から 50 年代のアイランドの田舎に住む、素朴で善良な人々のつつまじやかな暮らしを綴る。

2018:4./ 277p

978-4-89642-547-5

本体 ¥2,500+税



読売新聞 2018/05/06



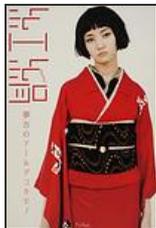
**曇天記**

堀江 敏幸 著  
都市出版

黒い旗をそのまま半旗にしてしまうような世の流れに与するわけにはいかない。ならば曇天の思索を可能な限りつづけよう。作家・堀江敏幸のエッセイ。『東京人』連載を書籍化。

読売新聞 2018/05/06

2018:3./ 246p  
978-4-901783-65-1  
本体 ¥2,200+税



**紅絹夢吉のアルデコキモノ**

エフ・ディ

明るく洗練された色合わせと、巧みにデザイン化された文様。シーンに合わせた数々のアルデコキモノのコーディネイトを通して、アルデコ柄のキモノの魅力を紹介する。

読売新聞 2018/05/06

2010:11./ 96p  
978-4-904342-05-3  
本体 ¥1,700+税



**法学の誕生～近代日本にとって「法」とは何であったか～**

内田 貴 著  
筑摩書房

西洋社会に深く根差した思想・文化である法学。全く異質な文化的土壌をもった日本社会は、いかにしてそれまででない思考様式を受容したのか。近代国家の骨格をつくり上げた明治日本の先人達の苦闘の歴史をあざやかに描き出す。

読売新聞 2018/05/06、朝日新聞 2018/05/26

2018:3./ 412p,7p  
978-4-480-86726-1  
本体 ¥2,900+税



**「在宅ホスピス」という仕組み(新潮選書)**

山崎 章郎 著  
新潮社

自宅で最期を迎えることが当たり前になる時、本人と家族は前もって何を知っておくべきか。ホスピスケアの第一人者である医師が、慣れ親しんだ場所で尊厳ある死を迎えるための考え方や取り組みを紹介する。

読売新聞 2018/05/06、日本経済新聞 2018/05/19

2018:3./ 253p  
978-4-10-603824-2  
本体 ¥1,300+税



**地球にちりばめられて**

多和田 葉子 著  
講談社

留学中に故郷の島国が消滅してしまった女性 Hiruko は、ヨーロッパ大陸で生き抜くため、独自の言語をつくり出す。彼女は言語学を研究する青年とともに、自分と同じ母語を話す者を探す旅に出て…。『群像』連載を単行本化。

読売新聞 2018/05/06、毎日新聞 2018/05/06、日本経済新聞 2018/05/19

2018:4./ 309p  
978-4-06-221022-5  
本体 ¥1,700+税



**ライシテから読む現代フランス～政治と宗教のいま～(岩波新書 新赤版 1710)**

伊達 聖伸 著  
岩波書店

数々のテロ事件を受け、政治と宗教、共生と分断のはざまで揺れているフランス。国内第二の宗教であるイスラームとの関係をめぐり、2017年大統領選挙の主要争点ともなったライシテについて論じる。

読売新聞 2018/05/13

2018:3./ 3p,243p  
978-4-00-431710-4  
本体 ¥840+税





**ガン回廊の朝**  
柳田 邦男 著  
講談社  
読売新聞 2018/05/13

1979:6./ 579p  
978-4-06-143646-6  
本体 ¥1,300+税  
  
\* 9 7 8 4 0 6 1 4 3 6 4 6 6 \*



**青天有月～エッセー～(講談社文芸文庫 ま J1)**  
松浦 寿輝 著  
講談社  
黄昏と暁闇、反射と点滅、傷と紐、月と放心、死-。ゴダール、スタンダール、吉田健一、西脇順三郎、アンデルセンら、先人達のイメージと自らの知性と悟性と感性で綴った<光>をめぐる随想集。

2014:2./ 314p  
978-4-06-290221-2  
本体 ¥1,700+税  
  
\* 9 7 8 4 0 6 2 9 0 2 2 1 2 \*

読売新聞 2018/05/13



**恋愛と贅沢(講談社まんが学術文庫 0003)**  
講談社  
資本主義が発展した理由。それはカネを使ったこと。マックス・ウェーバーの最大のライバル、ゾンバルトの代表作を完全まんが化。

2018:4./ 191p  
978-4-06-510651-8  
本体 ¥600+税  
  
\* 9 7 8 4 0 6 5 1 0 6 5 1 8 \*

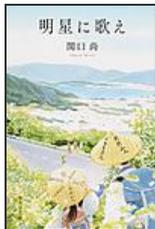
読売新聞 2018/05/13



**政談(講談社まんが学術文庫 0005)**  
講談社  
コンピュータによる施策に翻弄される人類の姿。自由に生きるか。そこそこで満足するか。人間存在の根幹に迫る近未来 SF 儒学!

2018:4./ 191p  
978-4-06-510668-6  
本体 ¥600+税  
  
\* 9 7 8 4 0 6 5 1 0 6 6 8 6 \*

読売新聞 2018/05/13



**明星に歌え(集英社文庫 せ 4-6)**  
関口 尚 著  
集英社  
四国お遍路ツアーに参加した大学生の玲。7 人の班で旅が始まるが、各々が事情を抱えている様子。軋轢も和解もあり、やがて結束するメンバー。長い歩みの果てに彼らを待っているものは…。『Web 集英社文庫』連載を書籍化。

2018:3./ 537p  
978-4-08-745718-6  
本体 ¥820+税  
  
\* 9 7 8 4 0 8 7 4 5 7 1 8 6 \*

読売新聞 2018/05/13



**マツハの恐怖(新潮文庫)**  
柳田邦男 著  
新潮社  
読売新聞 2018/05/13

1986:5./ 495p  
978-4-10-124905-6  
本体 ¥781+税  
  
\* 9 7 8 4 1 0 1 2 4 9 0 5 6 \*



**素顔の西郷隆盛(新潮新書 760)**  
磯田 道史 著  
新潮社  
今から 150 年前、この国のかたちを一変させた西郷隆盛。彼はいったい何者か。西郷の側近くにいた人々の証言等を改めて紐解き、後代の神格化と英雄視を離れて「大西郷」の素顔を活写。その人間像と維新史を浮き彫りにする。

2018:3./ 269p  
978-4-10-610760-3  
本体 ¥820+税  
  
\* 9 7 8 4 1 0 6 1 0 7 6 0 3 \*

読売新聞 2018/05/13



**人を見る目(新潮新書 762)**

保阪 正康 著  
新潮社

お追従、お節介、しみつたれ、臆病者、空とぼけ…。東西の古典を紐解きながら、軍人や政治家、財界人や文士達の様々な言動を辿り、善悪の間でよるめき続ける人間の悲哀を歴史の断層から掘り起こす。『新潮 45』連載を書籍化。

読売新聞 2018/05/13

2018:4./ 215p  
978-4-10-610762-7  
本体 ¥760+税



**武満徹著作集<3>**

武満 徹、谷川 俊太郎、船山 隆 著  
新潮社

読売新聞 2018/05/13

2000:5./ 482p  
978-4-10-646203-0  
本体 ¥5,000+税



**一九五〇年代、批評の政治学(中公叢書)**

佐藤 泉 著  
中央公論新社

戦争の時代と戦後の時代を蝶番のようにつなぐ 1950 年代。この時期を代表する批評家、竹内好、花田清輝、谷川雁の言論を取り上げ、政治と文学と社会が相互に陥入していた時代を読む。

読売新聞 2018/05/13

2018:3./ 334p  
978-4-12-005068-8  
本体 ¥2,000+税



**勝負師〜将棋・囲碁作品集〜(中公文庫 さ77-1)**

坂口 安吾 著  
中央公論新社

絶対名人といわれた木村義雄はなぜ敗れたのか-。木村の復活劇を描いた表題作をはじめ、昭和を代表する名棋士・升田幸三、大山康晴、呉清源らの盤上の戦いを活写した作品集。小説、観戦記、エッセイ、座談会を収録。

読売新聞 2018/05/13

2018:4./ 283p  
978-4-12-206574-1  
本体 ¥900+税



**乗客ナンバー23の消失**

セバスチャン・フィツェック、酒寄 進一 著  
文藝春秋

次々に乗客が消える客船に妻子失踪の謎を解くべく乗船した捜査官が直面する謎また謎。鬼気迫る捜査がたどりついた真相とは? ドイツ屈指のベストセラー作家が轟進させる閉鎖空間サスペンス。

読売新聞 2018/05/13

2018:3./ 381p  
978-4-16-390818-2  
本体 ¥2,250+税



**犠牲(サクリファイス)〜わが息子・脳死の11日〜(文春文庫)**

柳田 邦男 著  
文芸春秋

「脳が死んでも体で話しかけてくる」。自ら命を絶った二十五歳の息子の脳死から腎提供に至る最後の十一日を克明に綴った感動の手記。

読売新聞 2018/05/13

1999:6./ 294p  
978-4-16-724015-8  
本体 ¥610+税





### 幕末横浜オランダ商人見聞録

C.T.アッセンデルフト・デ・コーニング、東郷 えりか 著  
河出書房新社

開港直後の横浜の殺伐とした状況、長崎の出島にオランダ商館長がいた当時の堀のなかの楽園の様子…。幕末、開港直後の横浜居留地で貿易商をしていたオランダ人が、当時の日本を驚嘆の目で生き生きと描いた貴重な記録。

読売新聞 2018/05/13

2018:4./ 270p  
978-4-309-22730-6  
本体 ¥2,400+税



### パンと野いちご～戦火のセルビア、食物の記憶～

山崎 佳代子 著  
勁草書房

民族同士が対立し、住むところを追われ、移動を強制された旧ユーゴスラビアの人々。バルカン半島に長年住む著者が、その体験を食べ物キーワードに聞き取った証言集。伝統的な家庭料理のレシピも収録。

読売新聞 2018/05/13

2018:5./ 7p,307p  
978-4-326-85194-2  
本体 ¥3,200+税



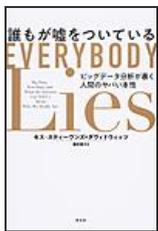
### 火星に住むつもりかい?(光文社文庫 い58-1)

伊坂 幸太郎 著  
光文社

仙台を取り締まる「平和警察」の管理下、住人の監視と密告によって危険人物と認められた者は、衆人環視の中で刑に処される。そんな不条理渦巻く世界で窮地に陥った人々を救うのは、全身黒づくめの「正義の味方」、ただ一人。

読売新聞 2018/05/13

2018:4./ 501p  
978-4-334-77628-2  
本体 ¥780+税



### 誰もが?をついている～ビッグデータ分析が暴く人間のヤバい本性～

セス・ステイーヴンズ=ダヴィドウィッツ、酒井 泰介 著  
光文社

検索は口ほどに物を言う! 米国の隠れた人種差別、世界の男女の性的な悩みや願望、名門校入学の効果、景気と児童虐待の関係…。グーグルの元データサイエンティストが、ビッグデータを分析して人間と社会の真の姿を明かす。

読売新聞 2018/05/13

2018:2./ 345p  
978-4-334-96216-6  
本体 ¥1,800+税



### 明治史講義<人物篇>(ちくま新書 1319)

筒井 清忠 編  
筑摩書房

明治史上の重要人物に対するかつての見方は、昨今の研究によって大きく覆されつつある。西郷隆盛、福澤諭吉、伊藤博文、井上毅ら、22人のキーパーソンを取り上げ、気鋭の先端研究者たちが最新の実証研究に基づいて捉え直す。

読売新聞 2018/05/13

2018:4./ 397p  
978-4-480-07140-8  
本体 ¥1,100+税



### 本屋という「物語」を終わらせるわけにはいかない

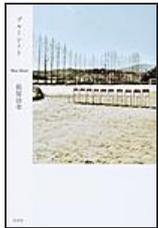
松本 大介 著  
筑摩書房

「思考の整理学」「文庫 X」等のベストセラーを連発してきた、岩手県盛岡市を中心とする<さわや書店>。さわや書店から出版業界を見てきた著者が、本屋の仕事と日常、本のこれからを綴る。『web ちくま』連載を基に書籍化。

読売新聞 2018/05/13

2018:3./ 249p  
978-4-480-86457-4  
本体 ¥1,500+税





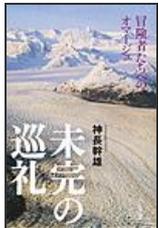
### ブルーシート

飴屋 法水 著  
白水社

東日本大震災に見舞われた 10 人の高校生たちが生存確認の声を反響させてゆく。第 58 回岸田國土戯曲賞を受賞した表題作と、ポストドラマ時代のドキュメンタリー児童劇「教室」を収録した戯曲集。

読売新聞 2018/05/13

2014:4./ 189p  
978-4-560-08362-8  
本体 ¥2,000+税



### 未完の巡礼～冒険者たちへのオマージュ～

神長 幹雄 著  
山と溪谷社

長い編集者生活で会った、忘れがたい冒険者たち。植村直己、長谷川恒男、星野道夫ら志半ばでヒマラヤや極地に逝った 6 人の登山家や冒険家、写真家の事績を、現地に訪ねて綴った邂逅の記録。『山と溪谷』掲載を大幅加筆。

読売新聞 2018/05/13

2018:2./ 301p  
978-4-635-17822-8  
本体 ¥1,700+税



### 西洋骨董鑑定教科書

ジュディス・ミラー、岡部 昌幸、河合 恵美、大浜 千尋 著  
パイインターナショナル

骨董の真贋を通じて、装飾美術の歴史が分かるテキスト。骨董の真贋を確かめるヒント、実際の骨董品に触れて真贋を確かめる際のコツ、鑑定士しか知らない骨董品の見極め方、専門用語などをカラー写真とともに収録する。

読売新聞 2018/05/13

2018:4./ 240p  
978-4-7562-5035-3  
本体 ¥3,600+税



### 「少年ジャンプ」黄金のキセキ

後藤 広喜 著  
ホーム社

653 万部という未曾有の記録を達成した『週刊少年ジャンプ』。空前絶後の部数はどのようにして生まれたのか？ 同誌元編集長が、掲載された漫画作品のエピソードを交えて創刊から黄金時代までの軌跡を明かす。

読売新聞 2018/05/13

2018:3./ 275p  
978-4-8342-5318-4  
本体 ¥1,600+税



### ベオグラード日誌(le livre de luciole 78)

山崎 佳代子 著  
書肆山田

こわされたもの、深い闇に沈むもの、幽かな光となって現れ生まれてくるもの…。ベオグラード在住の詩人が、2001 年から 12 年間の暮らしを点描する。季刊誌『るしおる』連載をもとに単行本化。

読売新聞 2018/05/13

2014:3./ 229p  
978-4-87995-894-5  
本体 ¥2,600+税



### 13歳からの絵本ガイド～YAのための100冊～

金原 瑞人、ひこ・田中 著  
西村書店

作家、翻訳家、書店員など、様々な形で絵本に携わる 14 人が 10 代にこそ出会ってほしい絵本を厳選。名作・ロングセラーから 2017 年刊行のものまで、絵本 100 冊を幅広く紹介する。

読売新聞 2018/05/13

2018:4./ 231p  
978-4-89013-787-9  
本体 ¥1,800+税





### 議会学

向大野 新治 著  
吉田書店

国会の本質とは何か。その実像は。仕組み、議会の歴史から本会議場の構造、内閣との関係、他国との比較までを詳述し、日本の政治を読み解く。「統治上の意思決定をするのは誰か」といった問いについても論じる。

2018:4./ 8p,276p  
978-4-905497-63-9  
本体 ¥2,600+税



読売新聞 2018/05/13



### 青の美術史(isの本)

小林 康夫 著  
ポーラ文化研究所

青の方へ飛び立ってみよう。青の世界のなかに飛び込んでみよう?。「青」という色をただひとつの手掛かりにして美術の世界を、あるいは人間の文化をさまよい、散歩してみる。青に託された夢を探る美術史。

1999:10./ 206p  
978-4-938547-46-2  
本体 ¥1,800+税



読売新聞 2018/05/13



### 路上のX

桐野 夏生 著  
朝日新聞出版

幸せな日常を絶ち切れ、親に棄てられた女子高生たち。ネグレクト、虐待、DV、レイプ、JK ビジネス…。3人の少女は酷薄な大人たちの世界を、しなやかに踏み越えていく。『週刊朝日』連載を単行本化。

2018:2./ 462p  
978-4-02-251530-8  
本体 ¥1,700+税



読売新聞 2018/05/20



### 『六本木』には木が6本あったのか?〜(朝日新書 661)

谷川 彰英 著  
朝日新聞出版

「六本木の木ってあるの?」「池袋の袋って?」江戸・明治の歴史や古来ある地名伝説をたどり、地名の“現場”を訪ねて、その土地のナゾを解き明かす。写真や地図も豊富で街歩きにも最適な一冊。

2018:3./ 254p  
978-4-02-273762-5  
本体 ¥780+税



読売新聞 2018/05/20



### 法廷弁論

加茂 隆康 著  
講談社

女性弁護士・丘野ヒロ子に法科大学院教授・平手理沙子殺害の容疑がかけられる。ふたりの間に何があったのか。被害者が気鋭の弁護士・水戸裕介へ残したメモとは? 現役弁護士が法曹界の腐敗を描く、リーガルサスペンス。

2018:4./ 315p  
978-4-06-221020-1  
本体 ¥1,600+税



読売新聞 2018/05/20



### 月の炎

板倉 俊之 著  
新潮社

異変は、皆既日食から始まった。小学校周辺で発生した謎の連続放火。犯人は誰なのか? 「真相」を追う少年がたどり着いたのは、想像を絶する切ない「真実」だった…。ハートウォーミング・ミステリー。

2018:2./ 277p  
978-4-10-351591-3  
本体 ¥1,600+税



読売新聞 2018/05/20



**かくれキリシタン〜長崎・五島・平戸・天草をめぐる旅〜(とんぼの本)**

後藤 真樹 著  
新潮社

受難の歴史をのりこえ、秘かに脈々と信仰を伝えてきた「かくれキリシタン」。長崎・外海、五島列島、平戸、熊本・天草…。現在もかくれキリシタンを続けている人々などを訪ね歩き、貴重な証言と共に、聖地や史跡をたどる。

2018:4./ 127p  
978-4-10-602281-4  
本体 ¥1,600+税



読売新聞 2018/05/20



**ゾウの時間ネズミの時間〜サイズの生物学〜(中公新書)**

本川 達雄 著  
中央公論新社

本書はサイズからの発想によって動物のデザインを発見し、その動物のよって立つ論理を人間に理解可能なものにする新しい生物学入門書であり、かつ人類の将来に貴重なヒントを提供する。

1999:2./ 230p  
978-4-12-101087-2  
本体 ¥680+税



読売新聞 2018/05/20



**日本統治下の朝鮮〜統計と実証研究は何を語るか〜(中公新書 2482)**

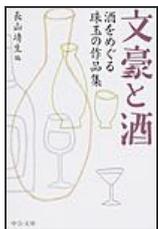
木村 光彦 著  
中央公論新社

日本による朝鮮の統治は果たして「収奪」一色だったのか？ その後の韓国の発展、北朝鮮の社会主義による国家建設と？ かりはないのか？ 論点を経済に絞り、実証主義に徹し、日本統治時代の朝鮮の実態と変容を描く。

2018:4./ 4p,224p  
978-4-12-102482-4  
本体 ¥800+税



読売新聞 2018/05/20



**文豪と酒〜酒をめぐる珠玉の作品集〜(中公文庫 な52-4)**

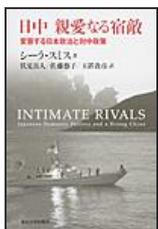
長山 靖生 編  
中央公論新社

ウィスキー、ビール、ジン、紹興酒…。酒が様々なイメージで登場する傑作を集めたアンソロジー。近代文学に足跡を残した漱石、露伴、安吾、谷崎、太宰ら 16人の作家と、白秋、中也、朔太郎ら 9人の詩人・歌人の作品を収録。

2018:4./ 297p  
978-4-12-206575-8  
本体 ¥820+税



読売新聞 2018/05/20



**日中 親愛なる宿敵〜変容する日本政治と対中政策〜**

シーラ・スミス、伏見 岳人、佐藤 悠子、玉置 敦彦 著  
東京大学出版会

靖国問題、海洋権益、食の安全、尖閣諸島を巡る対立などの日中関係の問題点を、米国の知日派が冷静に分析。大国へと台頭する中国に対応する日本の取り組みを詳しく解明する。

2018:3./ 17p,307p  
978-4-13-036268-9  
本体 ¥4,800+税



読売新聞 2018/05/20



**老建築家の歩んだ道〜松村正恒著作集〜**

松村 正恒、花田 佳明 編  
松村 正恒 著  
鹿島出版会

一地方都市の建築士として建築のあるべき姿を追い求め続けた松村正恒。その思索の跡を独自の筆致で綴った三冊の著作と単行本未収録の論考を精選して集成。名調子が冴えわたる、真摯でユーモラスなアンソロジー。

2018:2./ 442p  
978-4-306-04660-3  
本体 ¥4,200+税



読売新聞 2018/05/20



**山猫クー**

川口 晴 著

河出書房新社

猫好きの姉妹と犬好きの男、3人で暮らす幸福な日々は突然終わった。悲しい過去を乗り越えられない男女の前に、ある日突然山猫が現れて...。「犬と私の10の約束」原作者が構想10年の時を経て贈る、世にも美しい物語。

2018:4./ 205p

978-4-309-02666-4

本体 ¥1,300+税



読売新聞 2018/05/20



**須賀敦子エッセンス<1> 仲間たち、そして家族**

須賀 敦子、湯川 豊 編

須賀 敦子 著

河出書房新社

須賀敦子に出会う最良の入門書であり、愛読者にとっては新たな魅力発見のための決定版アンソロジー。1 は、デビュー作「ミラノ霧の風景」をはじめとする代表的著作の収録作品から「銀の夜」「夜の会話」など全17篇を収録。

2018:5./ 261p

978-4-309-02677-0

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2018/05/20



**現古辞典〜いまのことばから古語を知る〜(河出文庫 ふ 16-1)**

古橋 信孝、鈴木 泰、石井 久雄 著

河出書房新社

いまのことばと古語のつながりを知るための「読む辞典」。数詞、鳴き声、自然現象、病気の和語、擬音語、擬態語から、指示詞、代名詞、敬語動詞まで、上代?近世の多様な出典から豊富な用例を収録する。

2018:5./ 434p

978-4-309-41607-6

本体 ¥1,400+税



読売新聞 2018/05/20



**ボルヘス怪奇譚集(河出文庫 ホ 5-3)**

ホルヘ・ルイス・ボルヘス、アドルフ・ビョークナー、カサール、柳瀬 尚紀 著

河出書房新社

渦巻く笑いと戦慄-中国の妖怪物語。アラビアンナイト。カフカやポオの掌篇。セイロンの人食い鬼伝説...。「迷宮の作家」ボルヘスが選び抜いた短くて途方もない話92篇を収録。

2018:4./ 185p

978-4-309-46469-5

本体 ¥830+税



読売新聞 2018/05/20



**大人の恐竜図鑑(ちくま新書 1315)**

北村 雄一 著

筑摩書房

ティラノサウルス、トリケラトプス、プテラドン...。人気恐竜の生態や進化、近年発掘された画期的な化石や地層、絶滅の真相など、恐竜の最新研究の成果をイラストとともに紹介する。

2018:3./ 264p

978-4-480-07121-7

本体 ¥860+税



読売新聞 2018/05/20



**脇役本 増補文庫版(ちくま文庫 は 49-1)**

浜田 研吾 著

筑摩書房

細川ちか子のインタビュー本、高橋豊子のパリ本、中村是好の盆栽本、龍岡晋の句集、宮口精二のミニコミ誌...。歌舞伎、新派、映画、テレビなどで活躍した「脇役のうまい」日本人俳優たちの著作を紹介する。

2018:4./ 542p

978-4-480-43494-4

本体 ¥1,200+税



読売新聞 2018/05/20



**鉄道とトンネル～日本をつらぬく技術発展の系譜～(シリーズ・ニッポン再発見 8)**

小林 寛則、山崎 宏之 著  
ミネルヴァ書房

明治時代にできたトンネルを新幹線が通る板谷峠、日本初の海底トンネル・関門トンネル、世界に誇る日本一のトンネル・青函トンネル…。鉄道トンネル敷設の歴史的背景とその発展を紐解く。トンネルの基礎知識、工法も掲載。

2018:4./ 314p,4p  
978-4-623-08111-0  
本体 ¥2,200+税



読売新聞 2018/05/20



**村落伝承論～『遠野物語』から～ 増補新版**

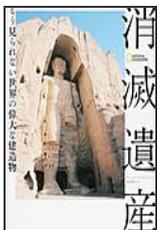
三浦 佑之 著  
青土社

古代の人びとは共同体のなかで、さまざまな物語を語り継いできた。そこでは、いかなる言葉と表現で、何が語られているのか。柳田国男の「遠野物語」を出発点に、神話と説話の実相にせまる。

2014:7./ 340p  
978-4-7917-6798-4  
本体 ¥2,600+税



読売新聞 2018/05/20



**消滅遺産～もう見られない世界の偉大な建造物～(NATIONAL GEOGRAPHIC-IC)**

ナショナルジオグラフィック 編  
安倍 雅史 著

日経ナショナルジオグラフィック社  
バーミヤーンの大仏のように粉々になってしまったものから、都市計画の一環で解体されてしまったもの、紛争地帯で消滅の危機にさらされているものまで。世界の偉大な建築物を、かつての姿を記録した写真で紹介する。

2018:2./ 157p  
978-4-86313-412-6  
本体 ¥2,400+税



読売新聞 2018/05/20



**合成生物学の衝撃**

須田 桃子 著  
文藝春秋

コンピュータ上で DNA を設計した人工生命体が誕生。カズオ・イシグロの代表的小説「わたしを離さないで」の世界が現実になる科学に人間の感情はついていけるか? 合成生物学の取材・研究に基づく科学ノンフィクション。

2018:4./ 233p  
978-4-16-390824-3  
本体 ¥1,500+税



読売新聞 2018/05/20、日本経済新聞 2018/05/26



**さよなら未来～エディターズ・クロニクル 2010-2017～**

若林 恵 著  
岩波書店

人文知をコンパスに、勇気を胸に、地図なき未来によりよく迷え! 『WIRED』日本版・前編集長として、21 世紀の最前線に触れてきた著者の思索と発信の軌跡を集成。『WIRED』ほか掲載を書籍化。

2018:4./ 511p  
978-4-00-023070-4  
本体 ¥2,200+税



読売新聞 2018/05/27



**あいまいな日本の私(岩波新書 新赤版 375)**

大江健三郎 著  
岩波書店

1994 年ノーベル文学賞受賞記念講演ほか、全 9 篇の講演に語られた、深く暖かい思索の原点と現在。

1995:1./ 232p  
978-4-00-430375-6  
本体 ¥780+税



読売新聞 2018/05/27



**言葉の魂の哲学(講談社選書メチエ 673)**

古田 徹也 著  
講談社

「ゲシュタルト崩壊」を扱った中島敦とホーフマンスタールの小説から、ワイトゲンシュタインの言語論、カール・クラウスの言語論までを検証。「生きた言葉」「魂ある言葉」を考える、新しい言語哲学。

2018:4./ 249p  
978-4-06-258676-4  
本体 ¥1,700+税



読売新聞 2018/05/27



**家族シアター(講談社文庫 つ 28-19)**

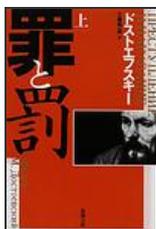
辻村 深月 著  
講談社

真面目な姉を鬱陶しく思う妹。趣味で反発し合う姉と弟。うまく息子と話せない父…。ぶつかり合うのは、近いから。家族は、ややこしくも愛おしい。7つの「わが家」でおきた、忘れられない7つの物語。

2018:4./ 375p  
978-4-06-293848-8  
本体 ¥720+税



読売新聞 2018/05/27



**罪と罰<上> 改版(新潮文庫)**

ドストエフスキー、工藤 精一郎 著  
新潮社

読売新聞 2018/05/27

2010:6./ 585p  
978-4-10-201021-1  
本体 ¥790+税



**アンナ・カレーニナ<上巻> 改版(新潮文庫)**

トルストイ 著  
新潮社

読売新聞 2018/05/27

1998:3./ 484p  
978-4-10-206001-8  
本体 ¥790+税



**物語を忘れた外国語**

黒田 龍之助 著  
新潮社

外国語学習で大切なのは、TOEIC でも問題集でもありません。小説や映画など、物語から学ぶこと。神田外語大学特任教授の著者が、外国語学習の秘訣を教えます。『小説新潮』連載を加筆訂正して単行本化。

2018:4./ 191p  
978-4-10-351721-4  
本体 ¥1,600+税



読売新聞 2018/05/27



**異常探偵宇宙船**

前田 司郎 著  
中央公論新社

一人の主婦が、この街を救う。異常者たちの異常な事件を専門にする主婦探偵・宇宙船は、ある小児性愛者の死の謎を追うが…。脱力系探偵小説。『アンデル小さな文芸誌』連載を加筆修正して単行本化。

2018:2./ 317p  
978-4-12-005050-3  
本体 ¥1,800+税



読売新聞 2018/05/27



**川の光(中公文庫 ま 49-1)**

松浦 寿輝 著  
中央公論新社

せせらぎに守られた川辺の暮らしは、突然の工事で終わりを告げる。新天地を求めて旅に出たネズミー一家は、やがて大冒険をすることになる。足元で脈動する世界に優しいまなざしを向け、柔らかい魂の手触りを伝える物語。

読売新聞 2018/05/27

2018:5./ 459p  
978-4-12-206582-6  
本体 ¥760+税



**新貿易立国論(文春新書 1170)**

大泉 啓一郎 著  
文藝春秋

グローバル時代にふさわしいビジネスモデルとは? 中国やアジアの新興国・途上国に追い上げられている日本。ビジネスの現場を踏まえて、新しい貿易立国を目指すためのアジアの見方と、その道筋を示す。

読売新聞 2018/05/27

2018:5./ 260p  
978-4-16-661170-6  
本体 ¥880+税



**竹熊健太郎 戦後サブカルチャー偉人伝(河出文庫)**

竹熊 健太郎 著  
河出書房新社

戦後大衆文化が生んだ、ケタ外れの偉人たち。康芳夫(虚業家)、石原豪人(画怪人)、川内康範(月光仮面原作)、糸井貫二(全裸の超前衛芸術家)を追った伝説のインタビュー集。昭和の裏がよみがえる。

読売新聞 2018/05/27

2007:12./ 357p  
978-4-309-40880-4  
本体 ¥850+税



**異次元へ～型破りの守備・攻撃&メンタル追求バイブル～(Professional Bible)**

菊池 涼介 著  
廣済堂出版

3本のヒットよりも10本の進塁打、教えるときは型にはめない…。常識を覆すプレーで広島東洋カープのリーグ連覇に貢献した菊池涼介選手が、自身の野球哲学・技術、そして一人の人間としての考え方を明らかにする。

読売新聞 2018/05/27

2018:4./ 259p  
978-4-331-52155-7  
本体 ¥1,600+税



**夢のウラド～F・マクラウド/W・シャープ幻想小説集～**

フィオナ・マクラウド、ウィリアム・シャープ、中野 善夫 著  
国書刊行会

死後に同一人物であることが明かされた作家マクラウドとシャープ。尾崎翠が思慕し三島由紀夫が讃美した稀有な魂をもつ作家の作品を初めてひとつに集成。「鳥たちの祝祭」「聖なる冒険」など20篇の幻想小説を収録する。

読売新聞 2018/05/27

2018:2./ 477p  
978-4-336-06246-8  
本体 ¥4,600+税



**フリーランス、40歳の壁～自由業者は、どうして40歳から仕事が減るのか?～**

竹熊 健太郎 著  
ダイヤモンド社

フリーランスが必ず直面することになる「40歳の壁」を、著者はいかに乗り越えていったのか? 「自由業で表現業」の人に向けて、一生フリーで食べていくためのサバイバル術を伝える。都築響一らのフリーランス実録も収録。

読売新聞 2018/05/27

2018:4./ 271p  
978-4-478-06572-3  
本体 ¥1,400+税





**スモールハウス～3 坪で手に入れるシンプルで自由な生き方～(ちくま文庫 83-2)**

高村 友也 著  
筑摩書房

ローンなし、生活費格安、ムダな物・わずらわしいことなし…。家を小さくして、お金をかけずにシンプルに暮らそう、という世界的な動き「スモールハウスムーブメント」を紹介し、その魅力を伝える。

2018:4./ 219p  
978-4-480-43511-8  
本体 ¥780+税



読売新聞 2018/05/27



**ナチズムに囚われた子どもたち～人種主義が踏みにじった欧州と家族～<上>**

リン・H.ニコラス、若林 美佐知 著  
白水社

「子どもは国民の最も貴重な宝」という「わが闘争」の宣言の一方で、「人種的に望ましくない」人々への迫害が横行する世界。ヒトラーの人種主義が子どもたちと家族に課した過酷な処遇を、歴史家が包括的に論じる。

2018:3./ 384p,27p  
978-4-560-09618-5  
本体 ¥4,800+税



読売新聞 2018/05/27



**ナチズムに囚われた子どもたち～人種主義が踏みにじった欧州と家族～<下>**

リン・H.ニコラス、若林 美佐知 著  
白水社

純粋な民族に属する身体的に完璧な人々によって支配され、人種的に受け入れ難く、経済的に役に立たない者は排除される。ヒトラーの人種主義が子どもたちと家族に課した過酷な処遇を、歴史家が包括的に論じる。

2018:3./ 409p,53p  
978-4-560-09619-2  
本体 ¥5,200+税



読売新聞 2018/05/27



**公共図書館の冒険～未来につながるヒストリー～**

田村 俊作 編  
みすず書房

公共図書館は何をしてきたか、何ができるのか。装備、図書館員、貸出カウンター、出版業界など、多様なテーマから日本の公共図書館史を見直し、これからの可能性を考える。

2018:4./ 9p,303p,7p  
978-4-622-08682-6  
本体 ¥3,500+税



読売新聞 2018/05/27



**時代を語る 林忠彦の仕事**

林 忠彦、林 義勝 著  
光村推古書院

大正、昭和、平成と激動の日本を生き抜いた写真家・林忠彦。戦中のドキュメントから、戦後日本の歩み、人物写真、風景写真まで、林忠彦の全仕事を紹介するとともに、林自身や大佛次郎、井上靖らのエッセイも収録。

2018:4./ 405p  
978-4-8381-0574-8  
本体 ¥3,800+税



読売新聞 2018/05/27



**野生のベリージャム**

小島 聖 著  
青幻舎

国内にとどまらず海外の様々な山にも登る山好きの女優・小島聖が、ネパールのトレッキングや、20日間、アメリカの大自然をひたすら歩く「ジョン・ミューア・トレイル」などでの、“食”にまつわるエピソードを綴る。

2018:3./ 270p  
978-4-86152-642-8  
本体 ¥2,000+税



読売新聞 2018/05/27



**あの頃、この歌、甦る最強伝説～歌謡曲 vs フォーク&ニューミュージック「昭和」の激闘～**

富澤 一誠 著  
言視舎

BS ジャパンの人気番組「あの年、この歌」の監修者が、破壊と創造の 60 年代、新しい社会への過渡期 70 年代、そしてバブルの 80 年代と昭和の終わりまで、「時代と歌」の密接な関係を解説する。

2018:3./ 188p  
978-4-86565-115-7

本体 ¥1,700+税



\* 9 7 8 4 8 6 5 6 5 1 1 5 7 \*

読売新聞 2018/05/27



**朝鮮大学校物語**

ヤン ヨンヒ 著  
KADOKAWA

全寮制、日本語禁止、無断外出厳禁。大阪下町育ちのミヨンが飛びこんだ「大学」は、高い塀の中だった。東京に実在するもうひとつの<北朝鮮>を舞台に、恋と出会い、挫折、卒業を描く小説。

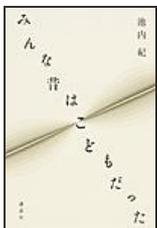
2018:3./ 231p  
978-4-04-400092-9

本体 ¥1,500+税



\* 9 7 8 4 0 4 4 0 0 0 9 2 9 \*

日本経済新聞 2018/05/05



**みんな昔はこどもだった**

池内 紀 著  
講談社

何か、とても肝心なことを宿しており、おりにつけ奇妙な初々しきでよみがえる。手塚治虫、向田邦子、高峰秀子、野坂昭如ら、個性的な仕事をなした 15 人のこども時代を、当人が回想してつづったものや資料をもとに振り返る。

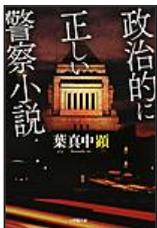
2018:3./ 253p  
978-4-06-220737-9

本体 ¥1,950+税



\* 9 7 8 4 0 6 2 2 0 7 3 7 9 \*

日本経済新聞 2018/05/05



**政治的に正しい警察小説(小学館文庫 は 17-1)**

葉真中 顕 著  
小学館

ポリティカル・コレクトネスをコンセプトにした警察小説の依頼を受けた作家のハマナコが、超大作を書き上げ…。表題作はじめ全 6 編を収録したブラックユーモア・ミステリー集。『月刊ジェイ・ノベル』ほか掲載を加えて文庫化。

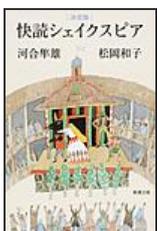
2017:10./ 325p  
978-4-09-406464-3

本体 ¥650+税



\* 9 7 8 4 0 9 4 0 6 4 6 4 3 \*

日本経済新聞 2018/05/05



**快読シェイクスピア 決定版(新潮文庫 シ-1-51)**

河合 隼雄、松岡 和子 著  
新潮社

なぜジュリエットは 14 歳? どうして「悪党」リチャード 3 世には魅力があるのか? 心理学者と翻訳家が、謎多き作家と作品に挑む、洞察力とユーモア溢れるセッション。「タイタス・アンドロニカス」論も収録。

2018:4./ 315p  
978-4-10-125253-7

本体 ¥550+税



\* 9 7 8 4 1 0 1 2 5 2 5 3 7 \*

日本経済新聞 2018/05/05



**人口減少時代の都市～成熟型のまちづくりへ～(中公新書 2473)**

諸富 徹 著  
中央公論新社

公共インフラの維持・更新、空き家の急増…。今後直面する危機を「住みよい都市」実現のチャンスととらえ、投資と効率性の視点から地域内の所得と雇用、独自の財源をもたらす都市経営のあり方を提言する。

2018:2./ 6p,214p  
978-4-12-102473-2

本体 ¥800+税



\* 9 7 8 4 1 2 1 0 2 4 7 3 2 \*

日本経済新聞 2018/05/05



**お金 2.0～新しい経済のルールと生き方～(NewsPicks Book)**

佐藤 航陽 著  
幻冬舎

仮想通貨、フィンテック、シェアリングエコノミー、評価経済…。「新しい経済」を私たちはどう生きるか! 「時間」を売買する経済システム「タイムバンク」を発明したメタップス創業者が明かす、資本主義の先の世界。

日本経済新聞 2018/05/05

2017:11./ 263p  
978-4-344-03215-6  
本体 ¥1,500+税



**源氏物語の教え～もし紫式部があなたの家庭教師だったら～(ちくまプリマー新書 294)**

大塚 ひかり 著  
筑摩書房

姫君の家庭教師・紫式部の教育方針とは? 男女の出会いから婚姻に至るやり取りまでを克明に描いた「源氏物語」の実用性に光を当て、作者・紫式部が物語に込めた思いや知恵、女子が幸せになる方法などを紹介する。

日本経済新聞 2018/05/05

2018:3./ 255p  
978-4-480-68999-3  
本体 ¥880+税



**習近平帝国の暗号 2035**

中澤 克二 著  
日本経済新聞出版社

2035 年までに中国を世界一一流国にする-。党大会直前に軍首脳を次々粛清した狙いとは何か。北朝鮮の核がなぜ中国にとっても脅威なのか。党大会の超異例な人事は何を示すのか。危うさが漂う習近平新時代の裏舞台を鋭くえぐる。

日本経済新聞 2018/05/05

2018:3./ 390p  
978-4-532-35768-9  
本体 ¥1,800+税



**チャイナ・エコノミー～複雑で不透明な超大国その見取り図と地政学へのインパクト～**

アーサー・R.クローバー、東方 雅美 著  
白桃書房

中国が金融危機に陥るリスクは? 中国の台頭に対し、どのように振る舞うべきか? 中国について日本人が知りたい 127 の疑問に、中国専門シンクタンクのトップリサーチャーがわかりやすく答える。

日本経済新聞 2018/05/05

2018:3./ 12p,395p  
978-4-561-91139-5  
本体 ¥2,593+税



**銀幕の大統領ロナルド・レーガン～現代大統領制と映画～**

村田 晃嗣 著  
有斐閣

ハリウッドからホワイトハウスに転じた、ただ一人の大統領ロナルド・レーガン。政治に物語性を導入した彼の生涯を通して、20 世紀アメリカにおける現代大統領制と映画、また政治と文化の相互作用を分析・考察する。

日本経済新聞 2018/05/05

2018:3./ 4p,610p  
978-4-641-14923-6  
本体 ¥3,900+税





### ターゲット・キリング～標的殺害とアメリカの苦悩～

杉本 宏 著  
現代書館

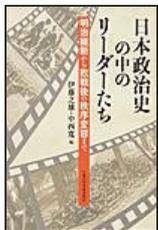
裁判でもない、戦争でもない…。CIA の諜報員らが戦場以外で「非公然活動」の一環として行う国家殺害に光を当て、政府に歯向かう「テロリスト」を闇から闇に葬る「標的殺害」の驚くべき実態を明かす。

2018:3./ 333p  
978-4-7684-5826-6

本体 ¥2,200+税



日本経済新聞 2018/05/05



### 日本政治史の中のリーダーたち～明治維新から敗戦後の秩序変容まで～

中西 寛 編  
京都大学学術出版会

幕末維新时期?第二次世界大戦期の近代日本の政治史を対象とした論文集。リーダーたちの生い立ちから性格まで、そして彼らを取り巻く国際的な事象の拡がりに注目して、指導者達の成功と失敗の要因を考察する。

2018:4./ 7p,480p  
978-4-8140-0140-8

本体 ¥4,800+税



日本経済新聞 2018/05/05



### 現代アートとは何か

小崎 哲哉 著  
河出書房新社

大富豪のスーパーコレクター、資本主義と距離を保つキュレーター、新秩序に挑むアーティスト…。日本からは見えてこない、グローバル社会における現代アートの真の姿を描く。『ニューズウィーク日本版』連載に加筆修正。

2018:3./ 419p,20p  
978-4-309-27929-9

本体 ¥2,700+税



日本経済新聞 2018/05/05、朝日新聞 2018/05/19



### 日本文学全集の時代～戦後出版文化史を読む～

田坂 憲二 著  
慶應義塾大学出版会

高度成長の波に乗ってすぐれた出版物を大量に生み出した 1960 年代。出版がもっとも光り輝いていた<あの時代>を、文学全集の書誌学的調査を通して詳細に描き出す。

2018:3./ 265p,23p 図  
版 16p

978-4-7664-2511-6

本体 ¥2,400+税



日本経済新聞 2018/05/05、東京・中日新聞 2018/05/13



### 庭

小山田 浩子 著  
新潮社

ままならない日々を生きる人間のすぐそばで、虫や草花や動物たちが織り成す、息をのむような不可思議な世界。風景が静かに決定的に姿を変える瞬間を克明に描き出す、15 の物語を収録する。

2018:3./ 235p  
978-4-10-333643-3

本体 ¥1,700+税



日本経済新聞 2018/05/05、読売新聞 2018/05/13、毎日新聞 2018/05/27



### 超国家主義～煩悶する青年とナショナリズム～

中島 岳志、頭山 ゆう紀 著  
筑摩書房

北村透谷、石原莞爾、宮澤賢治ら、煩悶する戦前期の青年たち。かれらの心情と行動を鮮烈に浮かび上がらせ、国家をも超える全体主義=超国家主義の生成と瓦解をたどり直し、その本質を問う。『ちくま』連載に加筆し単行本化。

2018:3./ 269p  
978-4-480-84316-6

本体 ¥1,700+税



日本経済新聞 2018/05/05、毎日新聞 2018/05/06



**陰謀の日本中世史(角川新書 K-196)**

呉座 勇一 著

KADOKAWA

本能寺の変に黒幕あり!? 関ヶ原は家康の陰謀!? 義経は陰謀の犠牲者!? 史上有名な陰謀をたどりつつ、陰謀論の誤りを最新学説で徹底論破。陰謀論の法則も明らかにする。

2018:3./ 343p

978-4-04-082122-1

本体 ¥880+税



日本経済新聞 2018/05/12



**話術(新潮文庫 と-31-1)**

徳川 夢声 著

新潮社

話は誰でもできる。だからこそ、上手に話すことは難しい。ではどうすればいいか。会議、プレゼン、雑談、スピーチなど、あらゆる場面で役立つ、話術の神様・徳川夢声書き残した<話し方>の教科書。

2018:4./ 253p

978-4-10-121361-3

本体 ¥490+税



日本経済新聞 2018/05/12



**草薙の剣**

橋本 治 著

新潮社

10代から60代まで、世代の異なる6人の男たちと彼らの祖父母まで遡るそれぞれの人生を辿り、日本人の心の100年を描き、現代のありようを根底から問い返す。作家デビュー40周年記念長篇小説。『新潮』掲載を単行本化。

2018:3./ 347p

978-4-10-406115-0

本体 ¥1,700+税



日本経済新聞 2018/05/12



**画家たちの昭和～私の画壇交流記～**

中野 淳 著

中央公論新社

洋画家として戦時下から半世紀以上、松本竣介、麻生三郎を始めとする多くの画家たちと交流してきた著者による、昭和日本洋画壇交流記。旅、絵やその周辺に関するエッセイも収録する。

2018:3./ 347p

978-4-12-005056-5

本体 ¥3,000+税



日本経済新聞 2018/05/12



**オリバー・ストーン オン プーチン**

プーチン、オリバー・ストーン、土方 奈美 著

文藝春秋

なぜ、ロシアは米国に対抗するほぼ唯一の国たりえたのか。オリバー・ストーンが2015?17年にかけて4回ロシアを訪問し実施した、プーチン大統領へのインタビューを収録する。米国で放送されたドキュメンタリーを書籍化。

2018:1./ 394p

978-4-16-390765-9

本体 ¥1,700+税



日本経済新聞 2018/05/12



**知性は死なない～平成の鬱をこえて～**

與那覇 潤 著

文藝春秋

世界秩序の転換点でもある平成という時代に、どうして「知性」は社会を変えられず、むしろないがしろにされ敗北していったのか。うつを体験した著書が、その理由をかつての自分自身に対する批判も含めて探った記録。

2018:4./ 292p

978-4-16-390823-6

本体 ¥1,500+税



日本経済新聞 2018/05/12



**モダン(文春文庫 は 40-3)**

原田 マハ 著  
文藝春秋

ピカソ、マティス、ルソー、ポロック、ワイエス...。<モダン・アートの王国>へようこそ。ニューヨーク近代美術館 MoMA を舞台に、アート小説の名手が描く「美術館」短編小説。

2018:4./ 183p  
978-4-16-791046-4

本体 ¥560+税



日本経済新聞 2018/05/12



**電力と政治～日本の原子力政策全史～<上>**

上川 龍之進 著  
勁草書房

「原子カムラ」はどのように生まれ、どのように強化していったのか? 電力会社設立から3・11直後まで、戦後政治の「暗黒面」を凝縮した国策を、迫真のドキュメントで写し出す。

2018:2./ 8p,353p,15p  
978-4-326-35172-5

本体 ¥3,500+税



日本経済新聞 2018/05/12



**電力と政治～日本の原子力政策全史～<下>**

上川 龍之進 著  
勁草書房

安倍政権では電力自由化の改革は急速に進んだのに、なぜ脱原発は後退したのか? 野田内閣から第三次安倍内閣まで、電力自由化と脱原発をめぐるせめぎ合いを描き出し、原発政策の「拘束性」を解き明かす。

2018:2./ 351p,15p  
978-4-326-35173-2

本体 ¥3,500+税



日本経済新聞 2018/05/12



**シャルマの未来予測～これから成長する国沈む国～**

ルチル・シャルマ、川島 睦保 著  
東洋経済新報社

BRICs、VISTA の台頭を予見した著者が、「人口構成」「政治」「格差」「政府介入」など、国家の盛衰を見抜く10の基準で5?10年先の未来を予測。国家のランキングも明らかにする。

2018:4./ 12p,570p,58p  
978-4-492-37121-3

本体 ¥2,800+税



日本経済新聞 2018/05/12



**LGBTを知る(日経文庫 1389)**

森永 貴彦 著  
日本経済新聞出版社

性的マイノリティの総称のひとつとして使われる「LGBT」の基礎知識から、企業が社内外で取り組むべきことまで、国内の現状を踏まえながら丁寧に解説する。LGBTへの取り組み事例も豊富に収録。

2018:4./ 195p  
978-4-532-11389-6

本体 ¥860+税



日本経済新聞 2018/05/12



**ポピュリズム～デモクラシーの友と敵～**

カス・ミュデ、クリストバル・ロビラ・カルトワッセル、永井 大輔、高山 裕二 著  
白水社

移民排斥運動からラディカルデモクラシーまで、現代デモクラシーの基本条件としてポピュリズムを分析。歴史を縦軸に、地域を横軸に、幅広く概説し、現代政治におけるその重要性を浮き彫りにする。

2018:4./ 192p,10p  
978-4-560-09617-8

本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2018/05/12



**東京タワー〜オカンとボクと、時々、オトン〜**

リリー・フランキー 著  
扶桑社

それはまるで、独楽の芯のようにきっちりと、ど真ん中に突き刺さっている。東京の中心に。日本の中心に。ボクらの憧れの中心に。この話は、かつて、それを目指すために上京したオトンと、ボクと、オカンのちいさな話です。

日本経済新聞 2018/05/12

2005:6./ 449p  
978-4-594-04966-9  
本体 ¥1,500+税



**ダ・フォース<上>(ハーパーBOOKS M・ウ 3・1)**

ドン・ウインズロウ、田口 俊樹 著  
ハーパーコリンズ・ジャパン

麻薬や銃による犯罪を取り締まるマンハッタン・ノース特捜部、通称“ダ・フォース”。この街を統べる刑事の王マローンは、ドミニカ人麻薬組織の手入れの際におこなったある行動をきっかけに、転落の道をたどりはじめ…。

日本経済新聞 2018/05/12

2018:3./ 494p  
978-4-596-55081-1  
本体 ¥972+税



**ダ・フォース<下>(ハーパーBOOKS M・ウ 3・2)**

ドン・ウインズロウ、田口 俊樹 著  
ハーパーコリンズ・ジャパン

ダ・フォースの中に裏切り者がいる。FBI が極秘裏に捜査するなか、1 人の刑事が拳銃自殺を遂げた。一方、街場ではギャング、マフィアの権力抗争が激化していた。哀哭の街でマローンたちを待ち受ける血みどろの結末とは。

日本経済新聞 2018/05/12

2018:3./ 471p  
978-4-596-55082-8  
本体 ¥972+税



**戦後社会保障の証言〜厚生官僚 120 時間オーラルヒストリー〜**

田中 聡一郎 編  
有斐閣

オーラルヒストリーの手法を用いて、社会保障制度の成立と展開に関する重要なトピックについて、政策立案の舞台裏で活躍した厚生省の官僚にインタビューを実施。その証言を収録し、解説を付す。

日本経済新聞 2018/05/12

2018:4./ 22p,369p,8p  
978-4-641-17435-1  
本体 ¥5,600+税



**100 年後の世界〜SF 映画から考えるテクノロジーと社会の未来〜(DOJIN 選書 76)**

鈴木 貴之 著  
化学同人

気鋭の哲学者が、生殖医療、遺伝子操作、サイボーグ、不老長寿、人工知能、仮想現実などを取り上げ、それぞれのテクノロジーの現状を整理。SF 映画も参照しながら、テクノロジーと社会の関係を予測する。「問い」も収録。

日本経済新聞 2018/05/12

2018:5./ 246p  
978-4-7598-1676-1  
本体 ¥2,000+税



**プーチンとロシア人**

木村 汎 著  
産経新聞出版

ロシアのトップに君臨する男、プーチンは、どんなトリックで自国を實力以上に見せているのか? ロシア研究の第一人者が、ロシア人の国民的性格をもとに、人間的アプローチでプーチンの行動様式を読み解く。

日本経済新聞 2018/05/12

2018:1./ 326p  
978-4-8191-1331-1  
本体 ¥1,800+税





**OKR~シリコンバレー式で大胆な目標を達成する方法~**

クリスティーナ・ウオドキー、二木 夢子 著  
日経BP社

KPI よりやる気が出て、生産性が圧倒的に上がる新しいフレームワーク「OKR」。物語を通して OKR の重要性を説明し、実際に OKR を用いるための技術を解説。書き込み式の OKR ワークシート付き。

2018:3./ 222p  
978-4-8222-5564-0  
本体 ¥1,500+税



日本経済新聞 2018/05/12



**自分を变える習慣力~コーチングのプロが教える、潜在意識を味方につける方法~(Business Life 002)**

三浦 将 著  
インプレス

習慣化が上手くいかないのは、潜在意識の抵抗を受けているから。潜在意識の特性を理解し、その抵抗を受けない状態にし、さらには潜在意識を味方に付けながら、習慣化を進める画期的な方法を伝える。

2015:12./ 222p  
978-4-8443-7444-2  
本体 ¥1,380+税



日本経済新聞 2018/05/12



**熊楠と猫**

伊藤 慎吾 編  
共和国/editorial republica

稀代の人類学者、南方熊楠。青春時代から最晩年まで、彼のそばには常に猫の影が。直筆の日記や書簡、猫の絵を通して、熊楠と猫とのエピソードを紹介すると共に、熊楠は猫を学術的な観点からどのように捉えていたのかを解説。

2018:4./ 173p  
978-4-907986-36-0  
本体 ¥2,300+税



日本経済新聞 2018/05/12



**犬の力<上>(角川文庫)**

ドン・ウィンズロウ 著  
角川書店

日本経済新聞 2018/05/12、日本経済新聞 2018/05/26

2009:8./ 574p  
978-4-04-282304-9  
本体 ¥952+税



**犬の力<下>(角川文庫)**

ドン・ウィンズロウ 著  
角川書店

日本経済新聞 2018/05/12、日本経済新聞 2018/05/26

2009:8./ 473p  
978-4-04-282305-6  
本体 ¥952+税



**ナポレオン~最後の専制君主、最初の近代政治家~(岩波新書 新赤版 1706)**

杉本 淑彦 著  
岩波書店

コルシカという周縁の地に生をうけ、革命の荒波を乗り切り、皇帝にまで登りつめたナポレオン。若き日の革命人士としての行動、エジプト遠征、プロパガンダ等の新たな視点も盛り込み、歴史の中の生涯を描きだす。関連年表付き。

2018:2./ 15p,225p,7p  
978-4-00-431706-7  
本体 ¥840+税



日本経済新聞 2018/05/19



**星の子**

今村 夏子 著  
朝日新聞出版

林ちひろは中学 3 年生。出生直後から病弱だった娘を救いたい一心で、ちひろの両親は「あやしい宗教」にのめり込んでいき、その信仰は少しずつ家族のかたちを歪めていく…。『小説トリッパー』掲載を単行本化。

日本経済新聞 2018/05/19

2017:6./ 220p  
978-4-02-251474-5  
本体 ¥1,400+税



\* 9 7 8 4 0 2 2 5 1 4 7 4 5 \*



**墮落論 改版(角川文庫)**

坂口 安吾 著  
角川書店

日本経済新聞 2018/05/19

2007:6./ 327p  
978-4-04-110020-2  
本体 ¥440+税



\* 9 7 8 4 0 4 1 1 0 0 2 0 2 \*



**虚無への供物<上>(講談社文庫)**

中井 英夫 著  
講談社

日本経済新聞 2018/05/19

2004:4./ 420p  
978-4-06-273995-5  
本体 ¥750+税



\* 9 7 8 4 0 6 2 7 3 9 9 5 5 \*



**虚無への供物<下>(講談社文庫)**

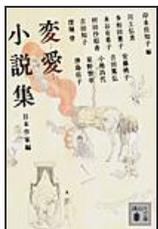
中井 英夫 著  
講談社

日本経済新聞 2018/05/19

2004:4./ 475p  
978-4-06-273996-2  
本体 ¥750+税



\* 9 7 8 4 0 6 2 7 3 9 9 6 2 \*



**恋愛小説集〜日本作家編〜(講談社文庫 き65-2)**

岸本 佐知子 編

川上 弘美、多和田 葉子、本谷 有希子、村田 沙耶香、吉田 知子、深堀 骨、安藤 桃子、吉田 篤弘、小池 昌代、星野 智幸、津島 佑子 著  
講談社

動物由来の細胞からヒトが生まれる世界、藁でできている優しい夫、男女 3 人で行う「正しいセックス」…。川上弘美、多和田葉子、津島佑子ら豪華執筆陣が、奇妙で純粋で狂おしい愛のかたちを綴った愛の物語全 11 編を収録する。

日本経済新聞 2018/05/19

2018:5./ 292p  
978-4-06-293914-0  
本体 ¥720+税



\* 9 7 8 4 0 6 2 9 3 9 1 4 0 \*



**ダーウィンを超えて(中公文庫)**

今西 錦司、吉本 隆明 著  
中央公論新社

日本経済新聞 2018/05/19

1995:10./ 217p  
978-4-12-202442-7  
本体 ¥602+税



\* 9 7 8 4 1 2 2 0 2 4 4 2 7 \*



**病院で死ぬということ(文春文庫)**

山崎 章郎 著  
文芸春秋

日本経済新聞 2018/05/19

1996:5./ 269p  
978-4-16-735402-2  
本体 ¥540+税



\* 9 7 8 4 1 6 7 3 5 4 0 2 2 \*

**夢の宇宙誌～コスモグラフィア・ファンタステイカ～(河出文庫)**

澁澤龍彦 著  
河出書房新社  
日本経済新聞 2018/05/19

1984:10./ 273p  
978-4-309-40096-9  
本体 ¥580+税

**アナクロニズム(河出文庫)**

種村季弘 著  
河出書房新社  
日本経済新聞 2018/05/19

1985:3./ 270p  
978-4-309-40109-6  
本体 ¥524+税

**「次の一手」はどう決まるか～棋士の直観と脳科学～**

中谷 裕教、伊藤 毅志、勝又 清和、川妻 庸男、大熊 健司 著  
勁草書房

将棋を題材に思考の仕組みを脳科学的に理解しようとする「将棋思考プロセス研究プロジェクト」。その研究活動を軸に、思考に関連した脳科学、認知科学、人工知能の話題を紹介し、「次の一手」を生み出す思考の不思議に迫る。

2018:4./ 5p,178p,5p  
978-4-326-29929-4  
本体 ¥2,500+税



日本経済新聞 2018/05/19

**昭和歌謡の謎～詞と曲に隠された物語～(祥伝社新書 537)**

合田 道人 著  
祥伝社

「贈る言葉」で言葉を贈ったのは失恋相手、「天城越え」の舞台は鎌倉時代-。世代を超えて愛され、歌い継がれる昭和歌謡に秘められたドラマを解き明かす。歌手、作詞家、作曲家本人との深い交際から知りえた秘話も満載。

2018:5./ 289p  
978-4-396-11537-1  
本体 ¥860+税



日本経済新聞 2018/05/19

**崩れる脳を抱きしめて**

知念 実希人 著  
実業之日本社

神奈川の病院に実習に来た研修医の碓氷は、脳腫瘍を患う女性・ユカリと出会い、心を通わせる。実習を終えた碓氷に、ユカリの死の知らせが届く。彼女はなぜ死んだのか? 幻だったのか? そして明かされる衝撃の真実!?

2017:9./ 290p  
978-4-408-53714-6  
本体 ¥1,200+税



日本経済新聞 2018/05/19

**大都会の誕生～ロンドンとパリの社会史～(ちくま学芸文庫 キ 25-1)**

喜安 朗、川北 稔 著  
筑摩書房

なぜ人は都市に集まるのか。イギリス近世・近代史、フランス社会運動史をそれぞれ専門とする碩学が、経済活動と民衆運動の視点から、ロンドンとパリの肖像と民衆の生活を描く。「盛り場のロンドン」を増補して文庫化。

2018:4./ 312p  
978-4-480-09862-7  
本体 ¥1,200+税



日本経済新聞 2018/05/19



### ダーウィン・エコノミー～自由、競争、公益～

ロバート・H.フランク、若林 茂樹 著

日本経済新聞出版社

アダム・スミスの唱えた「見えざる手」では社会はよくなる。ダーウィンが観察したように、個人の利益と集団の利益は深刻に対立している。自由競争の欠点をダーウィンの観察から鋭く指摘し、解決策を提示する。

日本経済新聞 2018/05/19

2018:3./ 322p

978-4-532-35769-6

本体 ¥2,000+税



### 監視大国アメリカ

アンドリュー・ガスリー・ファーガソン、大槻 敦子 著

原書房

ネットワーク分析、人工知能、ビッグデータ...。あなたの行動は把握されている。アメリカのビッグデータ警察活動における新技術の発展について説明し、データ駆動型警察活動がもたらす歪んだ影響を暴き出す。

日本経済新聞 2018/05/19

2018:2./ 333p

978-4-562-05483-1

本体 ¥2,400+税



### ゴリラからの警告～人間社会、ここがおかしい～

山極 寿一 著

毎日新聞出版

進化の果てで、テクノロジーに疲れ、戦争に倦む。人間が幸福を?むためには、あと何が必要なのか。ゴリラ研究の世界的権威が、霊長類視点からこれからの共同体・国家のあり方を問い直す。

日本経済新聞 2018/05/19

2018:4./ 206p

978-4-620-32518-7

本体 ¥1,400+税



### ソウル・ハンターズ～シベリア・ユカギールのアニミズムの人類学～

レーン・ウイラースレフ、奥野 克巳、近藤 祉秋、古川 不可知 著

亜紀書房

シベリアの先住狩猟民の小集団ユカギールに関するフィールド調査の成果。彼らの狩猟、アニミズム、人格性に焦点をあて、人間と動物が別個の存在ではなく、どっちつかずの存在様態であることを論じる。

日本経済新聞 2018/05/19

2018:3./ 379p

978-4-7505-1541-0

本体 ¥3,200+税



### プーチンのユートピア～21世紀ロシアとプロパガンダ～

ピーター・ポマランツェフ、池田 年穂 著

慶應義塾大学出版会

21世紀のロシアでは、独裁さえもリアリティー・ショーである。ロシアのテレビ業界に潜入したTVプロデューサーが、クレムリンに支配されたメディアの内側から、21世紀のロシア社会とプロパガンダの実態を描く。

日本経済新聞 2018/05/19

2018:4./ 1p,315p

978-4-7664-2512-3

本体 ¥2,800+税



### 動物たちのすごいワザを物理で解く～花の電場をとらえるハチから、しっぽが秘密兵器のリスまで～

マティン・ドラーニ、リズ・カローガー、吉田 三知世 著

合同出版

動物たちは、物理の天才だ！花の電場をとらえるハナバチ、重力に逆らうネコ、水滴を最大量飛ばせるイヌ、三角測量がお得意のゾウ、生物版GPSを使うカメ...。動物が日常生活でどのように物理を使っているかを紹介する。

日本経済新聞 2018/05/19

2018:4./ 379p

978-4-7726-9559-6

本体 ¥2,300+税





**高村光太郎論**

中村 稔 著  
青土社

近代日本の彫刻・詩の世界に重大な足跡を残した高村光太郎の作品を雑纂に至るまで検討。欧米留学、「智恵子抄」の背後に潜む暗黒、戦後の独居自炊の「自己流瀆」の実相など、高村光太郎の全貌の真相を抉りだした画期的評伝。

日本経済新聞 2018/05/19

2018:3./ 534p  
978-4-7917-7055-7  
本体 ¥2,800+税



**進歩〜人類の未来が明るい10の理由〜**

ヨハン・ノルベリ、山形 浩生 著  
晶文社

ニュースやメディアが書き立てるネガティブな終末世界は本当か？ 反グローバリズム運動への批判を展開してきたスウェーデンの歴史家が、明快なデータとエピソードで、明るい未来への指針を示す。

日本経済新聞 2018/05/19

2018:4./ 342p  
978-4-7949-6997-2  
本体 ¥1,850+税



**機械との競争**

エリック・ブリニョルフソン、アンドリュー・マカフィー 著  
日経BP社

「技術の進歩によって人間の労働力がいらなくなり、失業が増えるのではないか」という疑問をテーマに、デジタル技術の急速な進歩が雇用と経済におよぼす影響を明らかにし、その対策を具体的に提言する。

日本経済新聞 2018/05/19

2013:2./ 175p  
978-4-8222-4921-2  
本体 ¥1,600+税



**プラットフォームの経済学〜機械は人と企業の未来をどう変える?〜**

アンドリュー・マカフィー、エリック・ブリニョルフソン、村井 章子 著  
日経BP社

急速に能力を拡大する「マシン」に仕事を奪われる人間、巨大「プラットフォーム」に席卷される企業。生き残る組織の条件は「平等」と「透明性」。人間とマシン、物理的なモノやサービスとプラットフォームなどを論じる。

日本経済新聞 2018/05/19

2018:3./ 534p  
978-4-8222-5563-3  
本体 ¥2,600+税



**データサイエンス入門(岩波新書 新赤版 1713)**

竹村 彰通 著  
岩波書店

データ処理、データ分析に必要な情報学(コンピュータ科学)、統計学の基本知識をおさえ、新たな価値創造のスキルの学び方を紹介。データサイエンスの果たす役割や性格について、さまざまな観点から論じる。

日本経済新聞 2018/05/26

2018:4./ 9p,166p,5p  
978-4-00-431713-5  
本体 ¥760+税



**はだかの起原〜不適者は生きのびる〜(講談社学術文庫 2497)**

島 泰三 著  
講談社

寒暖、風雪、晴雨にかかわらず、常に体を守る完璧な衣類となる毛皮。なぜこんなに大切なものを、人間は失ったのだろうか？ 自然淘汰説を超え、遺伝学・生物学などを参照しつつ、現代人類の起原を探る。

日本経済新聞 2018/05/26

2018:5./ 299p  
978-4-06-511641-8  
本体 ¥1,250+税





**人に話したくなる世界史(文春新書 1165)**

玉木 俊明 著  
文藝春秋

「大航海時代」はアフリカの黄金目当てではじまった？ ペルシア戦争は「元寇」だった？ アジアの海はムスリム商人が席卷していた？ 歴史学研究成果を利用しながら、これまでとは異なる歴史像を紹介する。

2018:5./ 228p  
978-4-16-661165-2  
本体 ¥880+税



日本経済新聞 2018/05/26



**惑いの森(文春文庫 な 69-2)**

中村 文則 著  
文藝春秋

植物になりたいと願う青年。毎夜、午前 1 時に現れる男。狂おしいほどに愛を求めながら生きてきた彼らの人生に、ふいに奇跡が訪れる。切なく、温かいショート・ストーリー50 編を収録。

2018:1./ 205p  
978-4-16-790998-7  
本体 ¥580+税



日本経済新聞 2018/05/26



**戦略の未来**

コリン・グレイ、奥山 真司 著  
勁草書房

戦略の歴史は人類の歴史と同じくらい古い。いったい何が変わり、何が変わらないのか？ 世界三大戦略家の一人である著者が、古今東西の戦争や戦略家を論じ、時代や場所を越えて通用する「戦略の一般理論」を指し示す。

2018:4./ 14p,206p  
978-4-326-35174-9  
本体 ¥2,500+税



日本経済新聞 2018/05/26



**軌道~福知山線脱線事故 JR 西日本を変えた闘い~**

松本 創 著  
東洋経済新報社

平成 17 年 4 月 25 日に発生した JR 福知山線脱線事故。遺族と加害企業の社長。相反する立場の 2 人は巨大組織を変えるためにどう闘ったのか。遺族に静かに寄り添うジャーナリストが、13 年間の「軌道」を描く。

2018:4./ 365p  
978-4-492-22380-2  
本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2018/05/26



**没落の東京マーケット~衰退の先に見えるもの~**

太田 康夫 著  
日本経済新聞出版社

外為市場はシンガポール、香港、デリバティブズは韓国、インド、商品市場は中国。日本人の多くが実感していない金融力衰退という不都合な真実とアジア各国の急成長を明らかにし、日本市場が生き残るための方策を探る。

2018:3./ 284p  
978-4-532-35770-2  
本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2018/05/26



**エコノミクス・ルール~憂鬱な科学の功罪~**

ダニ・ロドリック、柴山 桂太、大川 良文 著  
白水社

労働価値説から限界革命、行動論から制度の経済学まで、あらゆる学説をモデルと捉え、経済学とは何かを明解に説く。ハーバード大学での政治経済学の授業をきっかけに書き下ろした経済学入門の決定版。

2018:2./ 196p,14p  
978-4-560-09598-0  
本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2018/05/26



### 革命～仏大統領マクロンの思想と政策～

エマニュエル・マクロン、山本 知子、松永 りえ 著  
ポプラ社

思想の核を形成した幼少期?青年期、フランス再興戦略、テロやさまざまなリスクとの向き合い方、欧州の政治・経済の展望…。フランス史上最年少のマクロン大統領が、その生い立ち、理想とするフランスのあり方などを語る。

2018:4./ 373p  
978-4-591-15835-7  
本体 ¥2,700+税



日本経済新聞 2018/05/26



### 乱世をゆけ～織田の徒花、滝川一益～

佐々木 功 著  
角川春樹事務所

甲賀の忍びあがりの土豪、滝川一益は、諸国を放浪の後、織田信長と出会い、寵臣として存在を大きくしていく。そんな中、信長が斃れ…。謎の多い武将、滝川一益の波乱に満ちた生涯を描く。

2017:10./ 323p  
978-4-7584-1311-4  
本体 ¥1,400+税



日本経済新聞 2018/05/26



### 昭和ノスタルジー解体～「懐かしさ」はどう作られたのか～

高野 光平 著  
晶文社

ゼロ年代の<昭和ノスタルジー>ブームは、なぜ世代を超えた一大ブームになり得たのか。マンガやテレビ、雑誌、広告、おもちゃ、音楽、映画、ファッション、レジャー施設など、幅広い領域に目を向けながら考察する。

2018:4./ 377p  
978-4-7949-6996-5  
本体 ¥2,500+税



日本経済新聞 2018/05/26



### ライフロング・キンダーガーデン創造的思考力を育む 4つの原則

ミッチェル・レズニック、村井 裕実子、阿部 和広 著  
日経BP社

プログラミング言語「スクラッチ」の開発者による、人生 100 年時代の新しい教育論。子どもたちを真のデジタルネイティブである「クリエイティブ・シンカー(創造的思考者)」に育てるための方法を説く。

2018:4./ 339p  
978-4-8222-5555-8  
本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2018/05/26



### 笑顔の習慣 34～仕事と趣味と僕と野球～

山本 昌 著  
内外出版社

野球解説者や講演会講師として活動する一方、ラジコン、クワガタのブリーダーなど趣味の分野でも活躍! 50歳で現役を引退した山本昌が、32年間のプロ野球選手時代の経験を交えながらセカンドキャリアについて綴る。

2018:1./ 205p  
978-4-86257-323-0  
本体 ¥1,400+税



日本経済新聞 2018/05/26



### 三屋清左衛門残日録<上>(大活字本シリーズ)

藤沢 周平 著  
埼玉福祉会

家督をゆずり、離れに起臥する隠居の身となった三屋清左衛門。彼は、日録を記すことを自らに課したが、世間から隔てられた寂寥感に襲われ…。老いゆく日々の命のかがやきを描く、著者円熟期代表作。

2007:6./ 282p  
978-4-88419-436-9  
本体 ¥2,900+税



日本経済新聞 2018/05/26



**三屋清左衛門残日録<中>(大活字本シリーズ)**

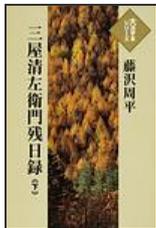
藤沢 周平 著  
埼玉福祉会

家督をゆずり、離れに起臥する隠居の身となった三屋清左衛門。彼は、日録を記すことを自らに課したが、世間から隔てられた寂寥感に襲われ…。老いゆく日々の命のかがやきを描く、著者円熟期代表作。

2007:6./ 262p  
978-4-88419-437-6  
本体 ¥2,900+税



日本経済新聞 2018/05/26



**三屋清左衛門残日録<下>(大活字本シリーズ)**

藤沢 周平 著  
埼玉福祉会

家督をゆずり、離れに起臥する隠居の身となった三屋清左衛門。彼は、日録を記すことを自らに課したが、世間から隔てられた寂寥感に襲われ…。老いゆく日々の命のかがやきを描く、著者円熟期代表作。

2007:6./ 278p  
978-4-88419-438-3  
本体 ¥2,900+税



日本経済新聞 2018/05/26



**ひと**

小野寺 史宜 著  
祥伝社

母が急死し、たった 1 人になった 20 歳の柏木聖輔。空腹に負けて吸い寄せられた商店街の惣菜屋で、聖輔は買おうとしていた最後に残った 50 円のクロックを見知らぬお婆さんに譲った。それが運命を変えとも知らずに…。

2018:4./ 296p  
978-4-396-63542-8  
本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2018/05/05



**宇喜多の楽土**

木下 昌輝 著  
文藝春秋

心優しきリーダーの選択とは…。秀吉の寵愛を受けた俊才・宇喜多秀家。父・直家の跡を継ぎ、関ヶ原に出陣し、戦い、負け、八丈島で長い生涯を閉じるまでを描く長編小説。『別冊文藝春秋』連載を大幅に改稿し単行本化。

2018:4./ 349p  
978-4-16-390652-2  
本体 ¥1,700+税



毎日新聞 2018/05/05、産経新聞 2018/05/20、朝日新聞 2018/05/26



**1937年の日本人～なぜ日本は戦争への坂道を歩いていったのか～**

山崎 雅弘 著  
朝日新聞出版

「平和から戦争への空気」は、日本でどのように形成されたのか。ナショナリズムや排他的な動きがどう進んだかを、1936年12月から1938年3月までの新聞や週刊誌、月刊誌などの記事から検証する。

2018:4./ 278p  
978-4-02-251485-1  
本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2018/05/06



**檀山節考 改版(新潮文庫)**

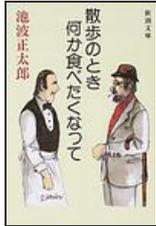
深沢 七郎 著  
新潮社

因習に閉ざされた棄老伝説を、近代的な小説にまで昇華させた「檀山節考」。ほかに「月のアペニン山」「東京のプリンスたち」「白鳥の死」の3編を収める。

1989:1./ 194p  
978-4-10-113601-1  
本体 ¥460+税



毎日新聞 2018/05/06



**散歩のとき何か食べたくなって 改版(新潮文庫)**

池波 正太郎 著  
新潮社

映画の試写を観終えて、銀座の[資生堂パーラー]に立ち寄り、はじめて洋食を口にした 40 年前を憶い出す。洋食、鮎、蕎麦、どぜう鍋、馬刺から菓子にいたるまで、折々に見つけた店の味を書き留めた食味エッセイ。

2003:4./ 240p  
978-4-10-115610-1  
本体 ¥590+税



毎日新聞 2018/05/06



**明治の技術官僚~近代日本をつくった長州五傑~(中公新書 2483)**

柏原 宏紀 著  
中央公論新社

幕末、先進技術を習得すべくイギリスに留学した伊藤博文・井上馨・山尾庸三・井上勝・遠藤謹助の「長州五傑」。そのうち、工業・鉄道・造幣の分野で活躍した山尾・井上勝・遠藤の足跡を軸に、明治の技術官僚の役割を解明する。

2018:4./ 3p,267p  
978-4-12-102483-1  
本体 ¥880+税



毎日新聞 2018/05/06



**演技する精神(中公文庫)**

山崎正和 著  
中央公論新社

毎日新聞 2018/05/06

1988:10./ 392p  
978-4-12-201558-6  
本体 ¥563+税



**装飾とデザイン(中公文庫 や9-5)**

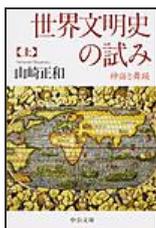
山崎 正和 著  
中央公論新社

秩序と逸脱、簡素と過剰、普遍への志向と個物への固執…。人間の根源的な営みである「造形」の歴史を、対極的な 2 つの原理、「デザイン」と「装飾」のダイナミックな葛藤として読み解く壮大な文明論。

2015:11./ 357p  
978-4-12-206199-6  
本体 ¥1,000+税



毎日新聞 2018/05/06



**世界文明史の試み~神話と舞踊~<上>(中公文庫 や9-6)**

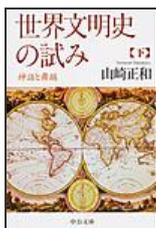
山崎 正和 著  
中央公論新社

人類の文明はいまや初めて地球的な規模で統一され、かつてない「世界文明」といべきものが誕生しつつある。その始原を先史時代に遡って探り、人類の文明史を「一貫した趨勢の連続」として捉える野心的論考。

2017:12./ 311p  
978-4-12-206482-9  
本体 ¥1,000+税



毎日新聞 2018/05/06



**世界文明史の試み~神話と舞踊~<下>(中公文庫 や9-7)**

山崎 正和 著  
中央公論新社

レオ・フロベニウスに着想を得、ベルクソンやメルロー=ポンティらの思索を批判的に継承しつつ、哲学と歴史学など関連諸学の成果を取り入れて展開される独創的な文明史。

2017:12./ 295p  
978-4-12-206483-6  
本体 ¥1,000+税



毎日新聞 2018/05/06



**わたしを生きる知恵～80歳のフェミニストカウンセラーからあなたへ～**

河野 貴代美、岡野 八代 著  
三一書房

フェミニストカウンセラー・河野貴代美が政治学者・岡野八代と対談し、新しい形の家族、個の尊重の問題などを語り合う。さらに、「母と娘の問題」「罪悪感」などをテーマに、フェミニストカウンセリングについて紹介する。

2018:1./ 244p  
978-4-380-18004-0  
本体 ¥1,700+税



毎日新聞 2018/05/06



**巡り逢う才能～音楽家たちの1853年～**

ヒュー・マクドナルド、森内 薫 著  
春秋社

ブラームス、リスト、ワーグナー、シューマン…。19世紀音楽界の主役らが、続々と登場する重要な出来事が多数起きた1853年春から翌年にかけての約10か月間を、彼らの人生の交わりを通じて観察する。

2017:12./  
11p,332p,29p  
978-4-393-93208-7  
本体 ¥3,000+税



毎日新聞 2018/05/06



**俳句の誕生**

長谷川 權 著  
筑摩書房

なぜ日本に俳句という短い詩が誕生したのか。言葉と詩歌の発生から、江戸時代半ばの近代大衆俳句の出發、戦後の高度成長以後の近代大衆俳句の内部崩壊までを扱い、松尾芭蕉、小林一茶、谷川俊太郎、大岡信らを論じる。

2018:3./ 190p  
978-4-480-82379-3  
本体 ¥2,300+税



毎日新聞 2018/05/06



**キャバレー、ダンスホール 20世紀の夜～美しき“大人の社交場”。消えゆく魅惑の空間を切り取った、写真集。～**

今井 晶子、奥川 純一、西村 依莉 著  
グラフィック社

入口のゴージャスなレリーフ、壁にホログラムが入ったVIPルーム…。各地に残るキャバレー、ダンスホールなど、消えゆく魅惑の空間を切り取った写真集。戦後から最盛期を経て、現在まで生き残ってきた店を紹介する。

2018:3./ 175p  
978-4-7661-3102-4  
本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2018/05/06



**カバー、おかけしますか?～本屋さんのブックカバー集～<2>**

中西 晴代 編  
出版ニュース社

書店で本を買うとかけてくれるカバー「書皮」をカラー写真で紹介。書皮友好協会が開催した30回の全国大会で選ばれた書皮大賞、地方賞、特別賞のほか、「手作り」「リボン」などのジャンル別に作品を収録する。

2018:4./ 153p  
978-4-7852-0164-7  
本体 ¥2,800+税



毎日新聞 2018/05/06



**ケルトの想像力～歴史・神話・芸術～<<ケルト:生と死をつなぐ螺旋:終末からの始まりより改題>>**

鶴岡 真弓 著  
青土社

ヨーロッパの古層文化を築いたケルトの強力な想像力。いにしえから現代までのヨーロッパを「ケルト」とおして読み直し、これまで陰に隠れていた西洋文明の大元にもあった自然信仰や素朴な生命再生への祈りの様式を見いだす。

2018:2./ 548p,14p  
978-4-7917-7029-8

本体 ¥3,600+税



毎日新聞 2018/05/06



**ウイステリアと三人の女たち**

川上 未映子 著  
新潮社

真夜中、解体されゆく家へ入りこんだわたしに、女たちの失われた時がやってくる。三月の死、愛おしい生のきらめき、ほんとうの名前、めぐりあう記憶…。人生のエピファニーを鮮やかに掬いあげる。全4編を収録。

2018:3./ 177p

978-4-10-325625-0

本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2018/05/06、朝日新聞 2018/05/12、日本経済新聞 2018/05/26



**リズムの哲学ノート**

山崎 正和 著  
中央公論新社

文明一般から自然現象におよぶ森羅万象に遍在するリズム。リズムの構造を根底に据えることによって、古代以来、哲学を苦しめてきた病弊「一元論的二項対立」の克服をめざす。『アステイオン』連載に加筆して書籍化。

2018:3./ 262p

978-4-12-005066-4

本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2018/05/06、日本経済新聞 2018/05/26



**太陽の塔(Shogakukan Creative Visual Book)**

平野 暁臣 著  
小学館クリエイティブ

「太陽の塔」とはなにか。岡本太郎のテキスト、森見登美彦、岡本敏子、安藤礼二らの文章や、構想段階から現在にいたるまでの貴重なヴィジュアル資料などから、その神髄に迫る。

2018:4./ 215p

978-4-7780-3613-3

本体 ¥3,000+税



毎日新聞 2018/05/06、毎日新聞 2018/05/27



**散るぞ悲しき～硫黄島総指揮官・栗林忠道～(新潮文庫)**

梯 久美子 著  
新潮社

毎日新聞 2018/05/13

2008:7./ 302p, 図版  
16p

978-4-10-135281-7

本体 ¥550+税



**シッダールタ 改版(新潮文庫 へ-1-11)**

ヘッセ、高橋 健二 著  
新潮社

生に苦しみ出離を求めたシッダールタは、苦行に苦行を重ねたあげく、ついに一切をあるがままに愛する悟りの境地に達する。悟りに至るまでの求道者の体験の奥義を探る、ヘッセ芸術のひとつの頂点。

2012:6./ 200p

978-4-10-200111-0

本体 ¥430+税



毎日新聞 2018/05/13



**脳が壊れた(新潮新書 673)**

鈴木 大介 著  
新潮社

41歳の時、突然の脳梗塞に襲われ、その後は、外からは見えない障害「高次脳機能障害」と、怪現象に見舞われた…。ルポライターが持ち前の探求心で自身の身体を取材し綴った、深刻なのに笑える感動の闘病記。

毎日新聞 2018/05/13

2016:6./ 233p  
978-4-10-610673-6  
本体 ¥760+税



**脳は回復する〜高次脳機能障害からの脱出〜(新潮新書 754)**

鈴木 大介 著  
新潮社

41歳で脳梗塞になった後、僕は僕じゃなくなった!? 小銭が数えられない、電話できない、会話できないの「できないこと」だらけに加えて、号泣の日々。「脳が壊れた」から2年、リハビリ後の困難とその克服を当事者が描く。

毎日新聞 2018/05/13

2018:2./ 270p  
978-4-10-610754-2  
本体 ¥820+税



**十七歳の硫黄島(文春新書)**

秋草 鶴次 著  
文芸春秋

志願兵として玉砕の地・硫黄島で戦い、傷つき、壕の中で生き延びること約3ヵ月。硫黄島で死んだ仲間達を思い続け、61年目に初公開する少年兵の心と身体に刻まれた戦争。

毎日新聞 2018/05/13

2006:12./ 262p  
978-4-16-660544-6  
本体 ¥880+税



**世界文学とは何か?**

デイヴィッド・ダムロッシュ、秋草 俊一郎、奥 彩子、桐山 大介、小松 真帆、平塚 隼介、山辺 弦 著  
国書刊行会

ギルガメシュ叙事詩、源氏物語、千夜一夜物語といった「古典」から、カフカ、ウツドハウス、ミロラド・パヴィチ「ハザール事典」まで、翻訳をつうじて時空間を超え、新たな形で流通しつづける「世界文学」の可能性を問う。

毎日新聞 2018/05/13

2011:4./ 498,26p  
978-4-336-05362-6  
本体 ¥5,600+税



**世界まちかど地政学〜90カ国弾丸旅行記〜**

藻谷 浩介 著  
毎日新聞出版

地理と歴史で読み解く、世界経済がわかる旅行記。世界90カ国を訪ねた著者が、歴史認識と21世紀の現場で起きていることの観察を踏まえ、現代の地政学を論じる。『経済プレミア』連載を書籍化。

毎日新聞 2018/05/13

2018:2./ 271p  
978-4-620-32499-9  
本体 ¥1,100+税



**翻訳地帯〜新しい人文学の批評パラダイムにむけて〜**

エミリー・アプター、秋草 俊一郎、今井 亮一、坪野 圭介、山辺 弦 著  
慶應義塾大学出版会

9.11「同時多発テロ」以降の混迷する世界状況を、「翻訳」という観点から緻密に分析する斬新な試み。言語と言語の狭間にあるものを拾いあげること、「翻訳中」のままに思考しつづけることを提言する。

毎日新聞 2018/05/13

2018:4./ 402p, 14p  
978-4-7664-2518-5  
本体 ¥5,500+税





### プレモダン建築巡礼～1868-1942～

磯 達雄、宮沢 洋、日経アーキテクチャ 編  
磯 達雄、宮沢 洋 著

日経BP社

明治維新から太平洋戦争終結前までに国内で竣工した、「プレモダン」の名建築50をイラスト・写真・文章で紹介。井上章一×磯達雄の対談も掲載する。『日経アーキテクチャ』連載に加筆し竣工年順に再構成。

2018:4./ 255p  
978-4-8222-5652-4

本体 ¥2,400+税



毎日新聞 2018/05/13



### 大根の底ぢから!

林 望 著

フィルムアート社

野菜焼きの愉しみ、蕎麦一瞬の快樂、アヒルの掌、大蛇料理…。食いしん坊のリンボウ先生が煩惱する折々の美味、そして珍味怪味なるエッセイ集。『味覚春秋』ほか掲載に書き下ろしを加えて単行本化。

2018:3./ 221p

978-4-8459-1712-9

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2018/05/13



### 胡適 1891-1962～中国革命の中のリベラリズム～

ジェローム・B.グリーダー、佐藤 公彦 著

藤原書店

J・デューイにプラグマティズムを学び、戦後は米国に亡命した思想家・胡適の評伝。今なお中国のリベラリストたちに根強い影響を与える胡適の思想を鮮やかに浮かび上がらせる。胡適と中国および世界の情勢関連年表等も収録。

2017:12./ 577p

978-4-86578-156-4

本体 ¥8,000+税



毎日新聞 2018/05/13



### 旅する街づくり～若き都市計画家の欧米都市見聞録～

伊藤 滋 著

万来舎

単身飛び込んだ欧米の都市計画の現場。そこには戦災からの復興と、新時代の都市づくりの息吹があった…。都市計画の第一人者・伊藤滋が、自身の研究の土台となった50年前の留学中の発見を、当時収集した資料とともにつづる。

2017:12./ 443p

978-4-908493-22-5

本体 ¥4,000+税



毎日新聞 2018/05/13



### 復興を見つめて～東京都健康長寿医療センター東日本大震災被災者支援プロジェクト5年半の取り組み～

東京都健康長寿医療センター 編

井藤 英喜、新開 省二、高橋 龍太郎、森 寛子 著

東京法規出版

東京都健康長寿医療センターがプロジェクト研究として行った「東日本大震災被災者支援プロジェクト」の5年半の記録をまとめる。災害直面時にどのように行動するべきかの具体的な教訓も掲載。

2018:3./ 247p

978-4-924763-51-7

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2018/05/13



### 初代「君が代」

小田 豊二 著  
白水社

丁髷がザンギリ頭に、着物が洋服になったあの時代に、はじめて「国歌」が作られた。しかもそれを吹奏したのは薩摩藩の少年たちで…。激動の幕末から明治初年までの初代「君が代」誕生までの風景を、多くの資料をもとに綴る。

2018:3./ 238p  
978-4-560-09627-7  
本体 ¥2,400+税



毎日新聞 2018/05/13、朝日新聞 2018/05/19



### 新・冒険論(インターナショナル新書 023)

角幡 唯介 著  
集英社インターナショナル

チベットで人類未踏の峡谷踏破、北極圏で闇の世界を 80 日間歩く極夜行…。数々の独創的な挑戦を行ってきた著者が、冒険の本質を綴った画期的冒険論。『kotoba』連載に加筆し書籍化。

2018:4./ 220p  
978-4-7976-8023-2  
本体 ¥740+税



毎日新聞 2018/05/13、朝日新聞 2018/05/19、読売新聞 2018/05/27



### 仏像みる・みられる

多川 俊映 著  
KADOKAWA

仏像をみるということは仏像にみられることであり、その感覚が「見守られている」という身体感覚に変われば、それが究極の仏との出会い方である。興福寺貫首の著者が、さまざまな「仏像のみかた」を易しく読み解く。

2018:3./ 235p  
978-4-04-400394-4  
本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2018/05/13、読売新聞 2018/05/20



### ファシスト的公共性～総力戦体制のメディア学～

佐藤 卓己 著  
岩波書店

市民的公共性とは異なる国民の一体感とは何か。メディア史の視座から日独の戦中=戦後期の比較をとおして、「ポスト真実」時代の現代的課題をも照射する。

2018:4./ 8p,319p,17p  
978-4-00-061260-9  
本体 ¥2,600+税



毎日新聞 2018/05/20



### F1 戦略の方程式～世界を制したブリヂストンの F1 タイヤ～(角川 one テーマ 21 C-205)

浜島 裕英 著  
角川書店

チームの戦略、ドライバーの戦略、エンジニアの戦略。F1 は戦略の連立方程式である。欧米が圧倒的に優位のモータースポーツの世界で日本企業として屈指の活躍を収めたブリヂストンの戦略を、同社のタイヤ開発者が解説する。

2011:7./ 198p  
978-4-04-710294-1  
本体 ¥724+税



毎日新聞 2018/05/20



### 日露近代史～戦争と平和の百年～(講談社現代新書 2476)

麻田 雅文 著  
講談社

伊藤博文、後藤新平、松岡洋右…彼らはなぜ英米ではなく、ロシアに接近していったのか。戦前の政治家たちの外交を検証することで、幕末から 1945 年の日ソ戦争に至るまでの日露関係を綴る。

2018:4./ 471p  
978-4-06-288476-1  
本体 ¥1,200+税



毎日新聞 2018/05/20



**比較史の方法(講談社学術文庫 2437)**

マルク・ブロック、高橋 清徳 著

講談社

何を歴史から知ることができるのか? アナール派の創始者マルク・ブロックによる、記念碑的講演の記録。歴史の中で「比較」を行うことの意義と問題点を、豊富な具体例をまじえながら分かりやすく説明する。

2017:7./ 130p

978-4-06-292437-5

本体 ¥600+税



毎日新聞 2018/05/20



**サラブレッドに「心」はあるか(中公新書ラクレ 619)**

楠瀬 良 著

中央公論新社

「今日はできればレースに出たくないなあ」「絶好調!誰にも負ける気がしない」など、馬の気持ちがわかったら-。競走馬の心理と行動に関する研究の成果を余すところなく紹介する。武豊との対談も収録。

2018:4./ 282p

978-4-12-150619-1

本体 ¥860+税



毎日新聞 2018/05/20



**歴史を変えた気候大変動**

ブライアン・フェイガン 著

河出書房新社

500年にわたって人類を根底から揺るがした恐るべき寒冷化と深刻な大飢饉。人口大移動・農業革命・産業革命を巻き起こした「小さな氷河期」とは?新しい視点からダイナミックに歴史を解く。

2001:12./ 331p

978-4-309-25154-7

本体 ¥2,400+税



毎日新聞 2018/05/20



**窓から見える世界の風**

福島 あずさ、nakaban 著

創元社

インドの風「エレファンタ」、地中海の風「トラモンターナ」...。人々は「風」に親愛や畏敬の念を込め、古くから様々な名前をつけてきた。気象学者である著者が世界の50の風を集め、絵と散文とともに紹介・解説する。

2018:2./ 106p

978-4-422-70109-7

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2018/05/20



**報道カメラマンの課外授業〜いっしょに考えよう、戦争のこと〜<1> 戦争はどう報道されたのか**

石川 文洋 著

童心社

報道カメラマン・石川文洋が取材した、さまざまな戦争。その実態を、写真を通して子どもたちに語りかける平和の授業を書籍化。1 は、戦争と報道について取り上げ、戦争を防ぐためにはどうすればよいのかを考える。

2018:3./ 46p

978-4-494-01836-9

本体 ¥2,800+税



毎日新聞 2018/05/20



**できそこないの世界でおれたちは**

桜井 鈴茂 著

双葉社

人生というのは、予期せぬアクシデントやトラブルに見舞われてしょっちゅう修正ややり直しを余儀なくされる。いまだ未熟さと決別できない、全ての大人たちへおくる青春小説。『小説すばる』連載を改題、加筆修正して書籍化。

2018:4./ 251p

978-4-575-24087-0

本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2018/05/20



**テレビに映らない北朝鮮(平凡社新書 870)**

鴨下 ひろみ 著  
平凡社

北朝鮮の「不機嫌な独裁者」はどんな理想像を描き、国際社会といかに折り合いをつけるのか。この国の庶民はどんな息遣いをしているか。30年にわたる取材の成果を軸に、テレビには映らない北朝鮮の断層を描く。

2018:3./ 271p  
978-4-582-85870-9  
本体 ¥860+税



毎日新聞 2018/05/20



**アジアからみたグローバルヒストリー〜長期の18世紀から東アジアの経済的再興へ〜**

秋田 茂 著  
ミネルヴァ書房

「長期の18世紀」と「東アジアの経済的再興」を柱に、アジアからみたグローバルヒストリーを構築。独自の一次史料やデータに基づき世界システムにおけるアジアの位置を再考することで、従来の世界史像に大幅な見直しを迫る。

2013:10./ 5p,343p  
978-4-623-06717-6  
本体 ¥4,500+税



毎日新聞 2018/05/20



**「大分岐」を超えて〜アジアからみた19世紀論再考〜**

秋田 茂 著  
ミネルヴァ書房

19世紀アジアの経済発展を、グローバルヒストリーの観点から検討し、ポメラントの「大分岐」論を相対化。20世紀後半の「東アジアの経済的再興」の起源を明らかにする。

2018:3./ 6p,307p  
978-4-623-08225-4  
本体 ¥5,500+税



毎日新聞 2018/05/20



**陸軍中野学校と沖縄戦〜知られざる少年兵「護郷隊」〜(歴史文化ライブラリー466)**

川満 彰 著  
吉川弘文館

激戦地沖縄に潜伏した42名の陸軍中野学校出身者。そのもとに集められた「護郷隊」の少年兵や住民は、どのように戦争に巻き込まれたのか。元兵士や関係者らの証言や回想から、陸軍中野学校がいかに沖縄戦に関与したかを描く。

2018:5./ 6p,229p  
978-4-642-05866-7  
本体 ¥1,700+税



毎日新聞 2018/05/20



**どれがほんと?〜万太郎俳句の虚と実〜**

高柳 克弘 著  
慶應義塾大学出版会

虚と実のはざまにたゆたう普遍的な詩情を、卓越した言葉の芸で生み出し続けた久保田万太郎。だれもが感受するその特質と危うい魅力を、俳句の本質に迫りつつ論じた、若手俳人の画期的評論。

2018:4./ 181p  
978-4-7664-2513-0  
本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2018/05/20



**GT-R 戦記〜モータースポーツで戦うということ。私的考察〜**

柿元 邦彦 著  
三栄書房

ドライバーだけでもクルマだけでも勝てないのが自動車レース。工業技術と人の融合が極限で求められる世界だからこそ得られる学びと喜びがそこにはある。日産のモータースポーツ活動を指揮してきた著者が、戦いの内側を語る。

2017:12./ 295p  
978-4-7796-3464-2  
本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2018/05/20



**ミハエル・クルムのレーシング「超」運転術～DRIVING on the EDGE～ 改訂版**  
 ミハエル・クルム、金子 直樹 著  
 東邦出版  
 荷重、ライン取り、視線…。トップレーサー、ミハエル・クルムが、レーシングカーの運転にまつわる基本と最新の技術をあますところなく解説する。新たな原稿と図版を加えた改訂版。

2017:7./ 255p  
 978-4-8094-1513-5  
 本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2018/05/20

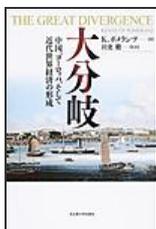


**近代世界システム<1> 農業資本主義と「ヨーロッパ世界経済」の成立**  
 I.ウオーラーステイン、川北 稔 著  
 名古屋大学出版会  
 歴史・経済・政治・社会の記述を大きく塗り替えて、現代の古典となった記念碑的著作。第1巻は今日の世界を覆う「資本主義的世界経済」の出発点となった、16世紀ヨーロッパを中心とする近代世界システムの誕生の軌跡を描く。

2013:10./  
 24p,423p,35p  
 978-4-8158-0743-6  
 本体 ¥4,800+税



毎日新聞 2018/05/20



**大分岐～中国、ヨーロッパ、そして近代世界経済の形成～**  
 K.ポメランツ、川北 稔 著  
 名古屋大学出版会  
 驚くほど似ていた、ひとつの世界。ユーラシアにおける発達した市場経済は生態環境の制約に直面していた。なぜ西ヨーロッパだけが分岐していったのか。ヨーロッパとユーラシアの他地域の発展を比較・検討する。

2015:5./ 7p,388p,57p  
 978-4-8158-0808-2  
 本体 ¥5,500+税



毎日新聞 2018/05/20



**江戸の骨は語る～甦った宣教師シドッチのDNA～**  
 篠田 謙一 著  
 岩波書店  
 2014年に東京都指定の史跡「切支丹屋敷跡」で発見された人骨は、新井白石が「西洋紀聞」に記録した江戸中期の宣教師シドッチではないか？最先端の科学で300年前の人骨の鑑定に挑んだ2年数ヶ月を克明に描く。

2018:4./ 11p,153p  
 978-4-00-022302-7  
 本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2018/05/27



**後醍醐天皇(岩波新書 新赤版 1715)**  
 兵藤 裕己 著  
 岩波書店  
 鎌倉幕府崩壊から南北朝動乱へ、日本社会の大きな転換を引き起こした後醍醐天皇。その実像と虚像について検討するとともに、彼の出現によって引き起こされた政治史的、思想史的な諸問題を考察する。

2018:4./ 5p,241p,3p  
 978-4-00-431715-9  
 本体 ¥840+税



毎日新聞 2018/05/27



**AI原論～神の支配と人間の自由～(講談社選書メチエ 672)**  
 西垣 通 著  
 講談社  
 第三次 AI ブームは本物なのか？ AI の栄枯盛衰を間近で見えてきた第一人者が、最新の哲学「思弁的実在論」をも参照しながら、AI の源に「神の支配」への希求を読み取り、未来における「人間の自由」を考える。

2018:4./ 197p  
 978-4-06-258675-7  
 本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2018/05/27



**赤ヘル 1975(講談社文庫 し 61-23)**

重松 清 著  
講談社

弱小球団・広島カープの帽子が赤に変わった 1975 年。原爆の傷痕が残る広島に転校してきたマナブは野球少年ヤスと新聞記者志望のユキオに出会い街に少しづつ馴染んでいく。カープは初優勝に向け真っ赤な奇跡を起こし...

毎日新聞 2018/05/27

2016:8./ 631p  
978-4-06-293479-4

本体 ¥880+税



\* 9 7 8 4 0 6 2 9 3 4 7 9 4 \*



**美の呪力(新潮文庫)**

岡本 太郎 著  
新潮社

毎日新聞 2018/05/27

2004:2./ 279p

978-4-10-134622-9

本体 ¥630+税



\* 9 7 8 4 1 0 1 3 4 6 2 2 9 \*



**内村鑑三(文春学藝ライブラリー)**

新保 祐司 著  
文藝春秋

「近代日本の定点」である、新たな内村鑑三観を打ち出した画期的批評。小林秀雄や保田與重郎を畏れさせ、多くの知識人に多大な影響を与えた破格の人物の核心に迫り、近代日本を貫く精神を明らかにする。

毎日新聞 2018/05/27

2017:10./ 351p

978-4-16-813064-9

本体 ¥1,300+税



\* 9 7 8 4 1 6 8 1 3 0 6 4 9 \*



**松尾芭蕉～俳句の世界をひらく～(伝記を読もう 12)**

坪内 稔典、立花 まこと 著  
あかね書房

旅にすごし、俳句を詠んだ松尾芭蕉。そこで彼は、なにを考えたのか。「古池や蛙飛び込む水の音」「行く春や鳥啼き魚の目は泪」など、今でも詠いつがれる歌とともに、松尾芭蕉の人生と、彼をとりまく人びとを紹介します。

毎日新聞 2018/05/27

2018:4./ 141p

978-4-251-04612-3

本体 ¥1,500+税



\* 9 7 8 4 2 5 1 0 4 6 1 2 3 \*



**「太陽の塔」岡本太郎と7人の男(サムライ)たち～48年目の誕生秘話～**

平野 暁臣 著  
青春出版社

太郎に選ばれた誇りと自負心、太郎との衝突、ビジネスを超えた無条件の情熱...。岡本太郎のもとで<太陽の塔>の建設に携わった男たちが、当事者しか知り得ない知られざる真実を語った証言集。

毎日新聞 2018/05/27

2018:1./ 249p

978-4-413-23071-1

本体 ¥1,300+税



\* 9 7 8 4 4 1 3 2 3 0 7 1 1 \*



**夏目漱石とクラシック音楽**

瀧井 敬子 著  
毎日新聞出版

国民的文豪はなぜ西洋音楽を愛したのか? 夏目漱石がクラシック音楽に好奇心を抱き、近づいてゆく軌跡を辿り、彼の小説と音楽体験が密接にリンクしていることを明らかにする。音楽学の第一人者が描く、全く新しい漱石像。

毎日新聞 2018/05/27

2018:3./ 319p

978-4-620-32498-2

本体 ¥2,500+税



\* 9 7 8 4 6 2 0 3 2 4 9 8 2 \*



**絵本と浮世絵～江戸出版文化の考察～ 改訂増補**

鈴木 重三 著  
ぺりかん社

「今日の浮世絵研究のベースは「鈴木浮世絵学」である」と称された著者が、江戸の出版物を縦横無尽に解き明かす。江戸後期小説・挿絵本と浮世絵の書誌学的研究を集成。「合巻について」等を追加するなどした改訂増補版。

2017:10./ 750p  
978-4-8315-1485-1  
本体 ¥18,000+税



毎日新聞 2018/05/27



**最後の漂海民～西海の家船と海女～**

東 靖晋 著  
弦書房

九州西北海域に海人の系譜(白水郎-海夫-家船)を探り、対馬・曲の海女の語りを通して、その漂泊移動の日々をたどる。海に生きた人々の漁法、交易方法、暮らしぶりから民俗学的考察まで、海からの視点でまとめた海洋文化論。

2018:2./ 215p  
978-4-86329-167-6  
本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2018/05/27



**ハウジングファースト～住まいからはじまる支援の可能性～**

森川 すいめい 編  
山吹書店

ホームレス状態の人に、無条件に安定した住まいを提供する「ハウジングファースト」。米国を中心とした実践例や理念、日本での実践例などを、それぞれの現場で活動する専門家が綴る。『賃金と社会保障』連載を加筆修正。

2018:4./ 221p  
978-4-86538-069-9  
本体 ¥2,600+税



毎日新聞 2018/05/27



**明治の光・内村鑑三**

新保 祐司 著  
藤原書店

キリスト教という「薬」抜きに西洋文明という「毒」を移植した日本近代が、根柢的に抱える欠落とは何か。「日本近代」を内村鑑三から照射し、近代の本質を看取した明治?昭和の文人・思想家たちの姿を描く。

2017:12./ 390p  
978-4-86578-153-3  
本体 ¥3,600+税



毎日新聞 2018/05/27



**火ノ刺?～吉増剛造 2008-2017～**

吉増 剛造 著  
響文社

吉本隆明に献じた「根源乃手」の続篇。2008?17年に吉増剛造が著したテキストを収録し、2011年2月から1年間、毎月22日に撮影された著者の肖像写真を収載する。書き下ろし詩篇「火ノ刺?」も仏訳と共に掲載。

2018:5./ 1,242p  
978-4-87799-139-5  
本体 ¥5,800+税



毎日新聞 2018/05/27